

資料編

—資料編目次—

I.	福山・笠岡地域公共交通網形成計画策定までの経緯	1
II.	地域公共交通網形成に向けたこれまでの取組	3
III.	生活交通に関するニーズ調査結果	7
IV.	福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約	32
V.	委員名簿	37

I. 福山・笠岡地域公共交通網形成計画策定までの経緯

	項 目	内 容
2016(H28) 4月11日	福山・笠岡地域公共交通活性化協議会設立	・協議会の設立と同時に、福山地域部会及び笠岡地域部会を設立
4月20日	第1回 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会開催	・協議会の設置報告 ・計画目的等の共有 ・計画作成の手順
4月26日 ～6月29日	計画作成の委託業者選定 (公募型プロポーザル方式)	4/26～5/13 募集期間 (申込6者) 5/13～6/3 企画提案書提出 (5者) 6/10 プロポーザル審査会 6/29 業務委託契約締結
6月22日	第1回 笠岡地域部会開催	・地域部会の設置・計画策定作業の現状報告 ・国庫補助申請に必要な協議に併せて開催
8月～9月	・アンケート調査 ・ヒアリング調査	・市民アンケート (対象：5,500人) ・バス利用者アンケート (対象：1,911人) ・乗合タクシー利用者アンケート (有効回答：37人) ・民生児童委員アンケート (対象：50人) ・タクシー事業者アンケート (対象：31社) ・バス事業者ヒアリング (対象：4社) ・航路事業者ヒアリング (対象：4社) ・コミュニティバス事業を実施するNPO法人ヒアリング (対象：1者)
10月	・路線バス利用データ取得 ・収集したデータの分析	・路線バス利用データ抽出による利用状況分析 ・アンケート・ヒアリング結果の分析
11月16日	第2回 笠岡地域部会開催	・計画策定に係る調査結果報告 ・笠岡地域の公共交通の現状・課題等の整理 ・計画の基本方針等の検討
11月18日	第1回 福山地域部会開催	・地域部会の設置・計画策定に係る経過報告 ・福山地域の公共交通の現状・課題等の整理 ・計画の基本方針等の検討
11月28日	第2回 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会開催	・計画策定に係る経過報告 ・地域公共交通の現状・課題等の整理 ・計画の基本方針等の検討

	項 目	内 容
2017 (H29) 1月10日	第3回 笠岡地域部会 書面協議	事業評価について
1月30日	第2回 福山地域部会開催	計画（素案）について協議
2月1日	第4回 笠岡地域部会開催	
2月6日	第3回 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会開催	
2月18日～ 3月19日	パブリックコメントの実施	市ホームページにおいて計画（案）を市民へ公表し、内容に関する意見を募る
3月24日	第4回 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会開催	計画案の最終確認
3月31日	「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」の完成	

II. 地域公共交通網形成に向けたこれまでの取組

1. 福山市の地域公共交通の取組

[整理概要]

- 「福山市生活バス利用促進計画」に基づく事業を整理
- 対象期間：2006年度（平成18年度）～2015年度（平成27年度）

(1) 路線バス関連の取組

項目	時期	概要
ゾーンバスシステムの導入	北部：2006年（平成18年）4月 南部：2007年（平成19年）11月 西部：2007年（平成19年）3月 東部：2010年（平成22年）3月	○市内の東西南北各ゾーンに乗り継ぎポイントとなるターミナルを整備し、幹線バスと支線バスの連携により面的な移動を支える「ゾーンバスシステム」を導入。 【乗り継ぎポイント】 ・北部ゾーン：中国中央病院 ・南部ゾーン：沼隈支所 ・西部ゾーン：松永駅 ・東部ゾーン：伊勢丘三丁目
中心部循環路線「まわローズ」の運行	2009年（平成21年）2月運行開始	○バス事業者3社（中国バス・鞆鉄道・井笠バスカンパニー）の共同運行
乗降環境改善	福山駅前広場（バス乗降場）整備： 2012年（平成24年）3月	○広域交通結節点である福山駅前広場において、バス乗降場整備、バス案内所整備、バリアフリー化等を推進 ○乗り継ぎポイントへの上屋等整備 ○乗降が多いバス停へのハイグレードバス停（民間事業者が設置、管理する広告付きバス停）、ベンチ設置
バスロケーションシステム（バス接近表示システム）の導入	供用開始： 2012年（平成24年）4月	○路線バスの運行情報等をリアルタイムで提供するシステム構築 ○バス停表示盤=19か所（20基）、車載機器=178台 ○パソコン、携帯電話、スマートフォンで利用可
運賃の弾力化	ICバスカード導入： 2008年（平成20年）1月	○ICバスカード（パスピー）の導入により乗り継ぎ割引を実施 ○中心部循環路線で定額運賃を実施

※上記以外に、低床バス導入、バス事業者によるダイヤやサービス内容の見直し等も実施されている。

(2) 乗合タクシーの導入

項目	時期	概要
乗合タクシー導入	2013年(平成25年) 10月運行開始	○旧井笠鉄道のバス路線廃止に伴い、神辺地域の中条・竹尋学区において、住民が主体となって運行計画等を策定する乗合タクシーを導入

(3) 利用促進関連の取組

項目	時期	概要
バス総合案内システム整備	2012年度(平成24年度)4月供用開始	○福山駅前バス乗降場における“のりば番号”，“発車時刻”，“遅れ情報”等の案内システム(表示盤)を整備
情報ツール作成	2009年度(平成21年度)より継続実施中	○バスマップや時刻表，利用啓発用のグッズやチラシ，ガイドブック等を作成
交通情報提供システム(おでかけふくやマップ)導入	2007年(平成19年)6月供用開始	○バス交通情報(時刻表，運賃，路線)等を容易に検索できるシステムの構築
ノーマイカーデーの実施	実施継続中	○各種企業・団体の協力のもと，国，広島県，福山市が連携して，会員制のノーマイカー運動(ベスト運動)を実施
モビリティ・マネジメント(MM)	2003年(平成15年)7月より継続実施中	○マイカー利用から公共交通への利用転換を促すため，小学校・企業・地域住民を対象としたMM(出前授業等による啓発)をベスト運動と一体的に実施
イベント開催	2009年(平成21年)10月より継続実施中	○市民にバスをより身近に感じてもらうための取組として，「ふくやまバスまつり」を年1回開催

2. 笠岡市の地域公共交通の取組

[整理概要]

- 「笠岡市地域公共交通総合連携計画」に基づく事業を整理
- 対象期間：2009年（平成21年）～2015（平成27年）

(1) 路線バス関連の取組

項目	時期	概要
運行事業者変更に伴う再編	2012年（平成24年）	○井笠鉄道(株)の事業撤退に伴い、同社が運行していた路線の整理・再編を実施 ○現在は(株)井笠バスカンパニーが運行
バスターミナル整備	2014年（平成26年）	○美の浜バスターミナル整備（笠岡市交通交流センター併設）
乗降環境改善	2014年（平成26年）	○笠岡駅前バス待合所に風防設備を設置 ○利用者が多い市内バス停を中心にベンチを設置

※上記以外に、低床バス導入、バス事業者によるダイヤやサービス内容の見直し等も実施されている。

(2) 乗合タクシーの導入

項目	時期	概要
乗合タクシー導入	2012年度（平成24年度）本格運行開始 ※2010年度（平成22年度）冬期より実証運行開始	○路線バスを外れた集落から、笠岡市民病院や笠岡駅などを連絡する、尾坂乗合タクシー、大島乗合タクシーを運行

(3) 海上交通関連の取組

項目	時期	概要
航路の統合	2011年（平成23年）	○旅客船航路を運航している3事業者（三洋汽船株式会社・六島航路有限会社・豊浦汽船株式会社）を航路統合し、三洋汽船株式会社が運航
利用環境の改善	2015年（平成27年）	○伏越港（フェリー乗り場）について、車による進入経路がわかりにくいため、高さ4mの看板を設置

(4) 利用促進関連の取組

項目	時期	概要
公共交通案内システム整備	2015年(平成27年) 供用開始	○笠岡駅前広場に“バス及び船の乗り場”及び“運行ダイヤ”の案内を行うデジタルサイネージを設置
情報ツール作成	2009年(平成21年) より継続実施中	○路線バスの路線図や航路などを示した、わかりやすい公共交通マップや、利用啓発用のグッズなどを作成
ノーマイカーデーの実施	実施継続中	○岡山県及び県下市町村で取り組むノーマイカー運動を推進
モビリティ・マネジメント(MM)	2014年(平成26年) より継続実施中	○小学生や保育園児を対象とした乗り方教室を開催
イベント開催	2013年(平成25年) より継続実施中	○市民にバスをより身近に感じてもらうための取組として、「かさおかバスまつり」を開催 ○2014年(平成26年)より、榊井笠バスカンパニーが主催してイベントを実施
観光目的での利用促進	2015年(平成27年)	○美の浜線の「美の浜バスターミナル」から「道の駅笠岡ベイファーム」までの延伸に併せて、企画切符(ワンデーチケット)を発行(7月～9月の土・日祝日) ○JR デスティネーションキャンペーンとの連携により公共交通を用いた観光ルートを設定 ・路線バスは道の駅まで延伸運行 ・航路は定期船を用いた白石島観光ツアーを開催

Ⅲ. 生活交通に関するニーズ調査結果

1. ニーズ調査の概要

対象地域内を運行（運航）する地域公共交通のニーズや課題などを把握するため、市民やバス利用者等へのアンケート調査を下表のとおり実施した。

調査結果を次節より示す。なお、調査結果における構成比は四捨五入しているため、合計値と合わない場合がある。

表 アンケート調査の実施概要

対 象	アンケート調査概要												
市 民	<p>市民（15歳以上の市内居住者）を対象として、地域公共交通の利用実態、満足度、要望等を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■配布回収方法：郵送配布／郵送回収 ■配布件数：5,500件 [福山市：4,500件，笠岡市：1,000件] ■有効回収件数（率） 2,546件（46.3%） [福山市：2,077件（46.2%），笠岡市：469件（46.9%）] 												
路線バス利用者	<p>路線バスの利用者を対象として、利用実態、満足度や問題点等を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■配布回収方法：福山駅前，笠岡駅前のバス乗り場において、手渡し配布／郵送回収 ■配布件数：1,911部[福山駅：1,700部，笠岡駅：211部] ■有効回収件数（率）：628件（32.9%） [福山駅前：555件（32.6%），笠岡駅前：73件（34.6%）] 												
乗合タクシー利用者	<p>乗合タクシー（3地域）利用者を対象として、利用者の属性や満足度、問題点などを把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■配布回収方法：車内で乗務員が手渡し配布／郵送回収 ■有効回収件数： [地域名] [回収件数] <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">福山市</td> <td style="padding-right: 10px;">竹尋学区</td> <td style="padding-right: 20px;">12件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福山市</td> <td>中条学区</td> <td>7件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>笠岡市</td> <td>大島地区</td> <td>18件</td> <td>全体37件</td> </tr> </table> <p>※なお、笠岡市尾坂地区は、配布期間（約1ヶ月）における運行便数が4便と少なく、回収数がゼロであったため分析対象外とする。</p>	福山市	竹尋学区	12件		福山市	中条学区	7件		笠岡市	大島地区	18件	全体37件
福山市	竹尋学区	12件											
福山市	中条学区	7件											
笠岡市	大島地区	18件	全体37件										

表 市民アンケート・路線バス利用者アンケート回答者の属性

【市民アンケート】

	福山市民			笠岡市民		
	項目	件	%	項目	件	%
性別	男性	835	40.2	男性	194	41.4
	女性	1,206	58.1	女性	267	56.9
	不明・無回答	36	1.7	不明・無回答	8	1.7
年齢	15～19歳	71	3.4	15～19歳	10	2.1
	20～39歳	331	15.9	20～39歳	44	9.4
	40～59歳	576	27.7	40～59歳	126	26.9
	60歳代	488	23.5	60歳代	126	26.9
	70歳代	405	19.5	70歳代	85	18.1
	80歳以上	188	9.1	80歳以上	72	15.4
	不明・無回答	18	0.9	不明・無回答	6	1.3
居住地	西部地域	245	11.8	西部地域	168	35.8
	中央地域	211	10.2	中央地域	37	7.9
	東部地域	544	26.2	島しょ部地域	22	4.7
	北東地域	232	11.2	南部地域	135	28.8
	島しょ部地域	11	0.5	北部地域	107	22.8
	南部地域	287	13.8			
	北部地域	547	26.3			
利用可能な手段 ※複数回答	自動車（自分で運転）	1,539	74.1	自動車（自分で運転）	325	69.3
	自動車（同居者による送迎）	339	16.3	自動車（同居者による送迎）	91	19.4
	自動車（同居者以外の方による送迎）	63	3.0	自動車（同居者以外の方による送迎）	22	4.7
	バイク・原付	121	5.8	バイク・原付	47	10.0
	自転車	479	23.1	自転車	77	16.4
	電動カート・シニアカー	10	0.5	電動カート・シニアカー	3	0.6
	自由に使える手段はない	99	4.8	自由に使える手段はない	28	6.0
	その他	1	0.0	その他	0	0.0
	不明・無回答	37	1.8	不明・無回答	12	2.6
	総数	—	2,077	100.0	—	469

【路線バス利用者アンケート】

	福山駅配布			笠岡駅配布		
	項目	件	%	項目	件	%
性別	男性	151	27.2	男性	27	37.0
	女性	387	69.7	女性	43	58.9
	不明・無回答	17	3.1	不明・無回答	3	4.1
年齢	～19歳	43	7.7	～19歳	16	21.9
	20～39歳	70	12.6	20～39歳	11	15.1
	40～59歳	184	33.2	40～59歳	19	26.0
	60歳代	111	20.0	60歳代	5	6.8
	70歳代	95	17.1	70歳代	10	13.7
	80歳以上	44	7.9	80歳以上	9	12.3
不明・無回答	8	1.4	不明・無回答	3	4.1	
居住地	福山市内	433	78.0	笠岡市内	38	52.1
	笠岡市内	4	0.7	福山市内	3	4.1
	その他	96	17.3	その他	25	34.2
	不明・無回答	22	4.0	不明・無回答	7	9.6
総数	—	555	100.0	—	73	100.0

2. 市民の交通行動

◆「市民の交通行動」は、“市民アンケート結果”を用いて分析

(1) 通勤・通学の交通行動

① 通勤・通学先

<通勤先>

- 両市民ともに自市内への通勤が最も多く、福山市では約8割、笠岡市では約45%を占める。
- 笠岡市民では、福山市への通勤する人が2割を上回る。

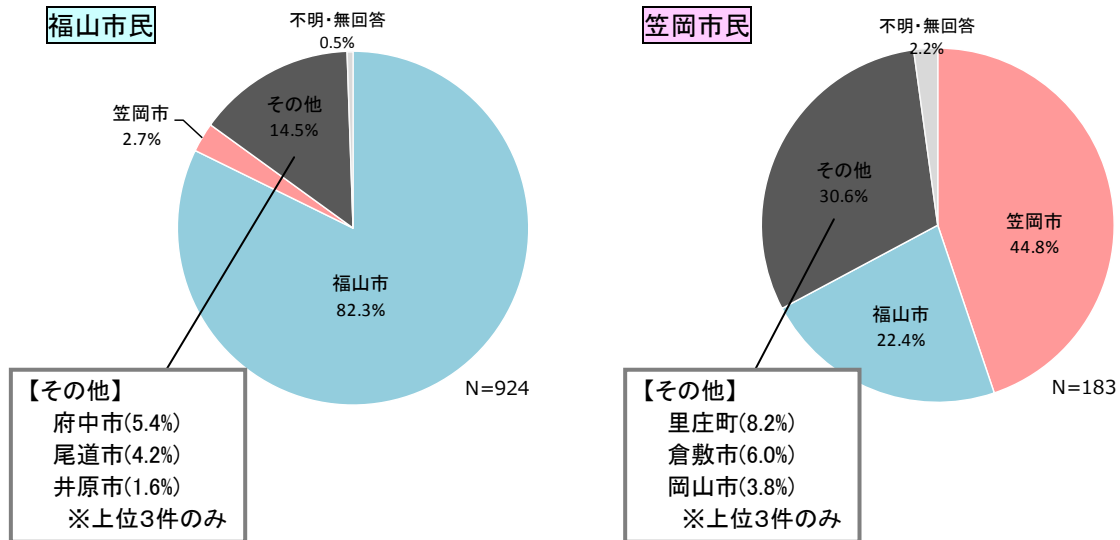


図 市民の通勤先

<通学先>

- サンプル数が少ないものの、福山市民の通学先は通勤に比べて市外に出る割合が高く、笠岡市民では、逆に市内の割合が高い。

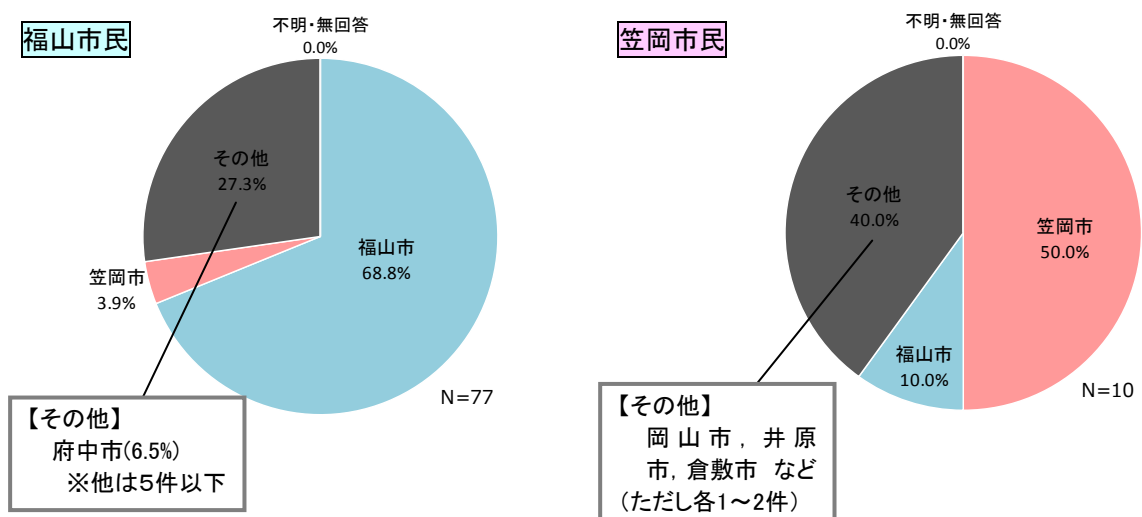
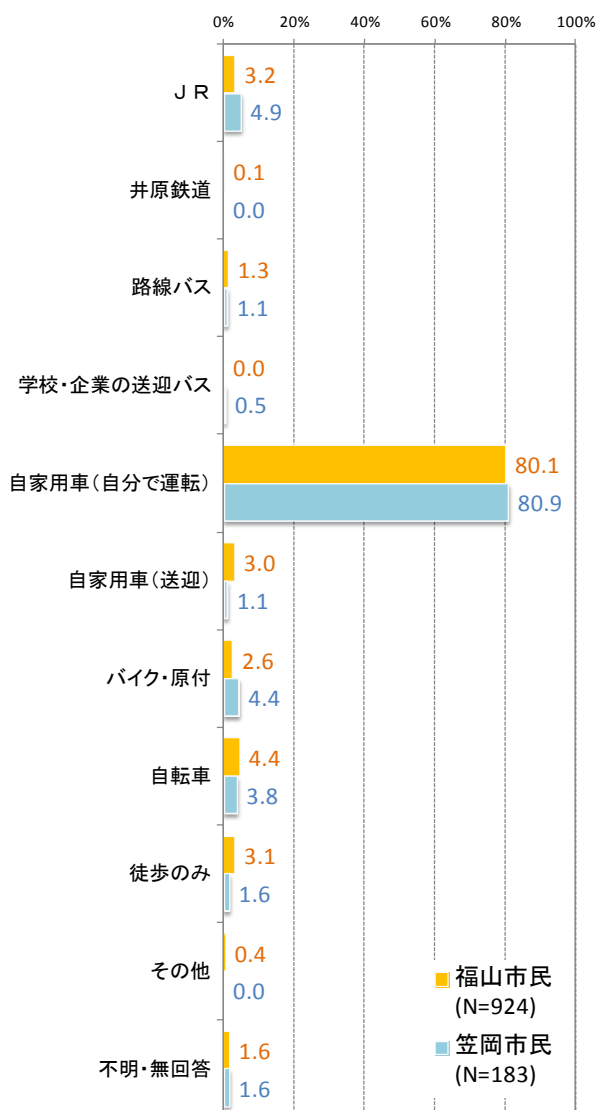


図 市民の通学先

② 通勤・通学の交通手段

- 両市民とも、通勤では、「自家用車（自分で運転）」が8割を超えるなど大多数を占めている。
- 通学では、福山市民では「JR」や「自転車」が約3割を占めて多い。一方、笠岡市民では「自転車」が半数を占め、次いで「JR」が約3割と続く。

<通勤手段>



<通学手段>

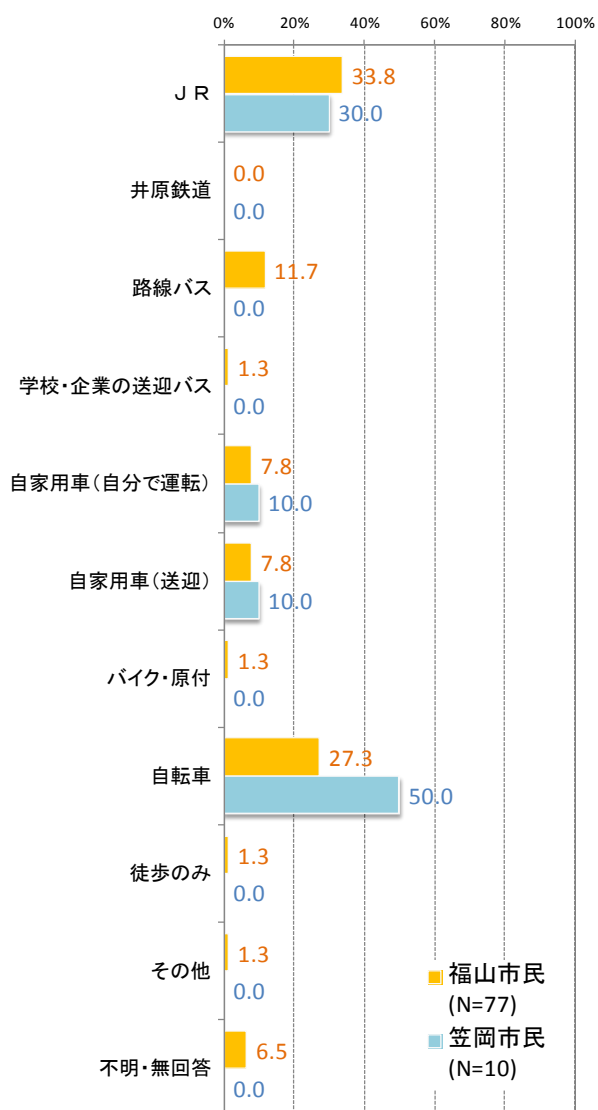


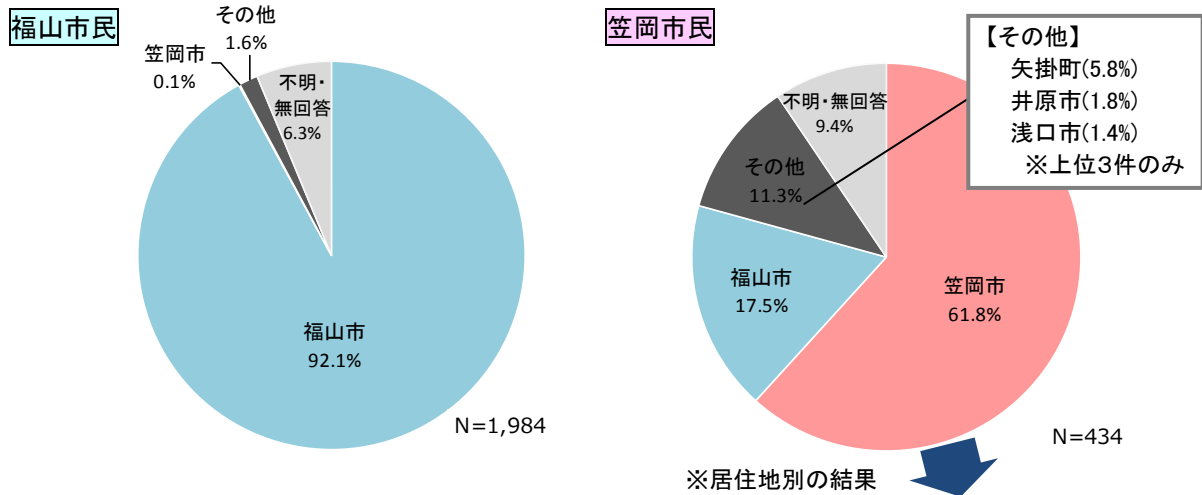
図 通勤・通学の交通手段

(2) 買物や通院目的の交通行動

① 最も多く訪れる買物や通院先

<買物先>

- 福山市民では9割を超える市民が、市内で買物を行っている。
- 笠岡市民では、市内で買物する市民が約6割であり、福山市内で買物する市民も約2割と多い。地域別では、笠岡市の西部地域において福山市内での買物が多く、約44%を占める。



※居住地別の結果

		合計	1	2	3	不明・無回答	
			笠岡市	福山市	その他		
総数	実数	434	268	76	49	41	
	%	100.0%	61.8%	17.5%	11.3%	9.4%	
居住地別	西部地域	実数	152	68	67	2	15
		%	100.0%	44.7%	44.1%	1.3%	9.9%
	中央地域	実数	37	33	1	1	2
		%	100.0%	89.2%	2.7%	2.7%	5.4%
	島しょ部地域	実数	18	14	0	0	4
		%	100.0%	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
	南部地域	実数	126	107	4	4	11
		%	100.0%	84.9%	3.2%	3.2%	8.7%
	北部地域	実数	101	46	4	42	9
		%	100.0%	45.5%	4.0%	41.6%	8.9%

図 最も多く訪れる買物先の所在地

<通院先>

- 福山市民では、8割を超える多くの市民が市内の病院等に通院している。
- 笠岡市民では、約7割が市内の病院等への通院であり、また約1割が福山市内に通院する。

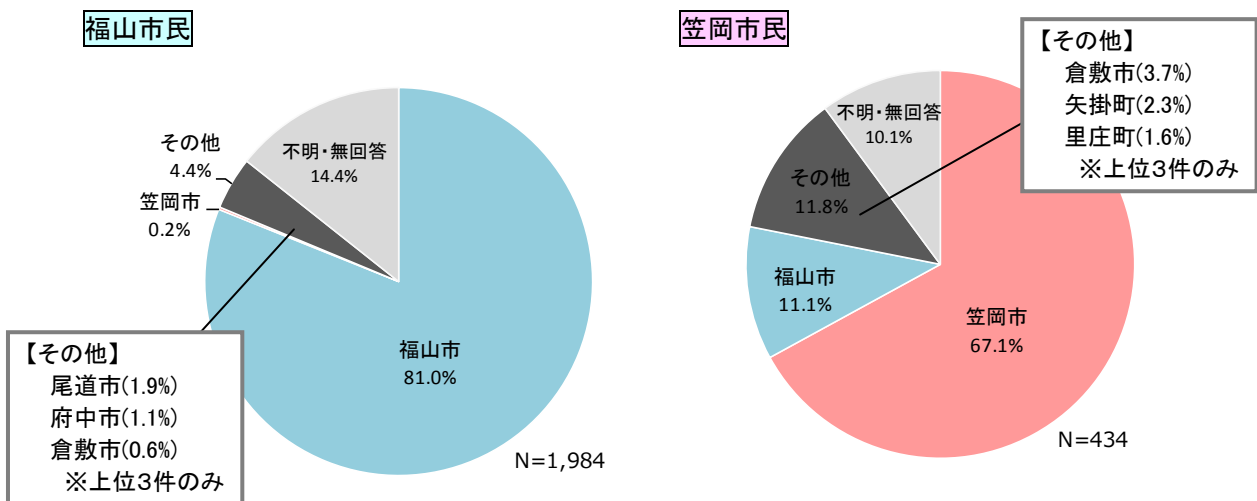
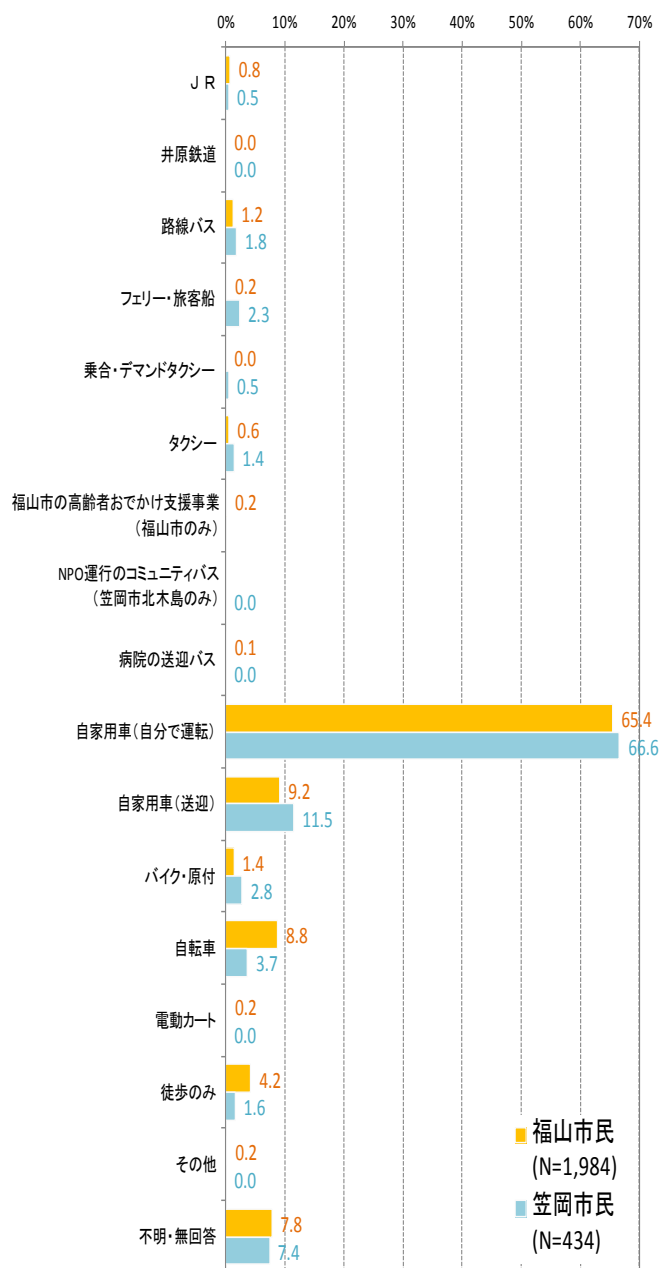


図 最も多く訪れる通院先の所在地

② 買物先や通院先までの交通手段

- 買物、通院ともに、「自家用車（自分で運転）」の利用が最も多く、6～7割近くを占める。
- その他の手段では、福山市民で「自転車」や「徒歩のみ」が笠岡市に比べて多く、一方で笠岡市民では「自家用車（送迎）」や「バイク・原付き」が福山市に比べて多いのが特徴的である。

<買物手段>



<通院手段>

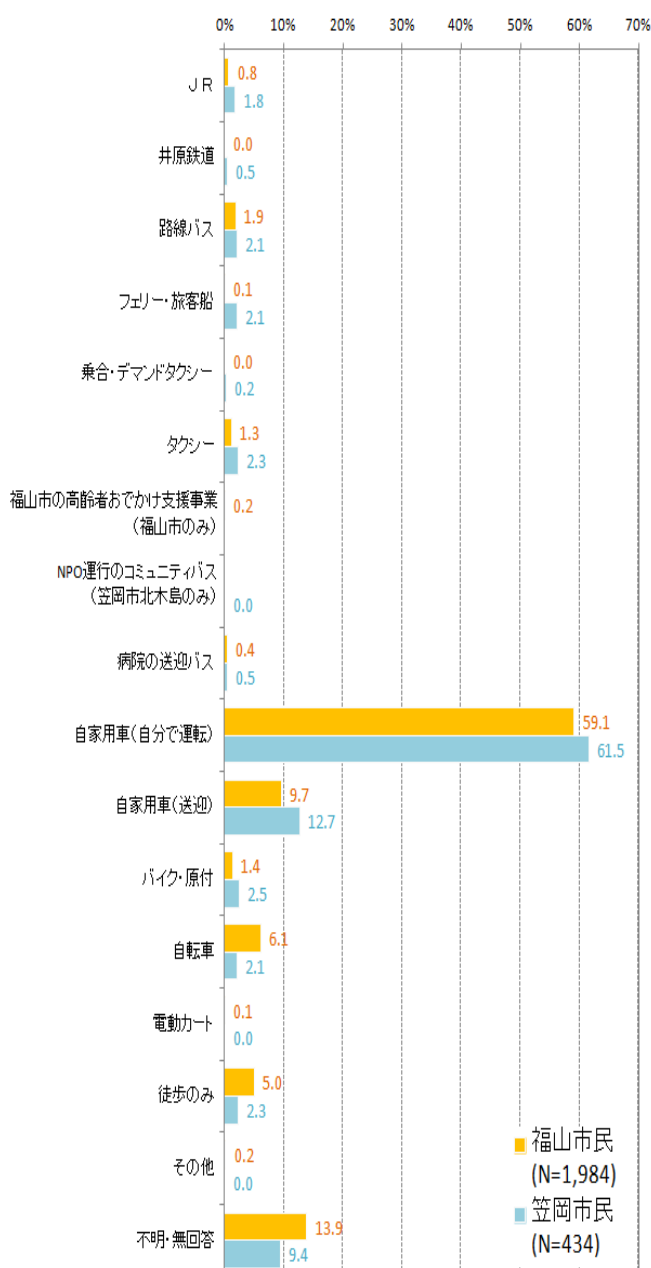


図 買物先・通院先までの交通手段

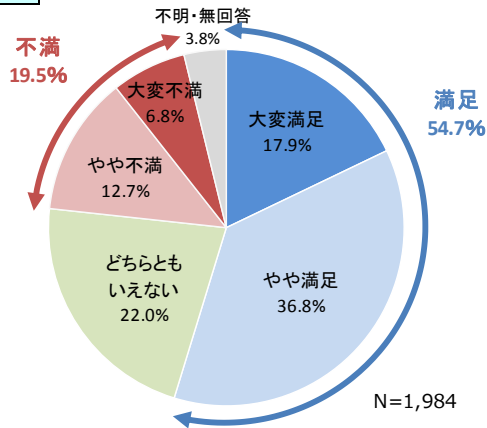
3. 交通環境の満足度

◆「交通環境の満足度」は、「市民アンケート結果」を用いて分析

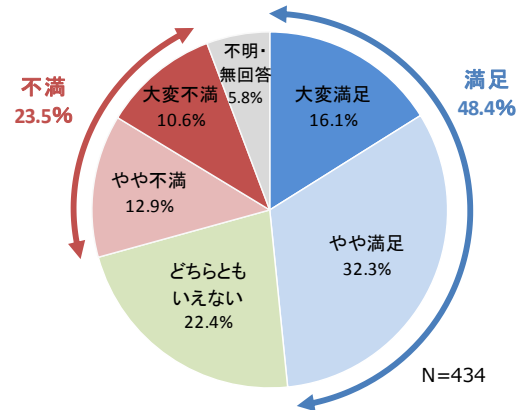
① 交通環境の満足度

- 福山市民では、「満足」（「大変満足」と「やや満足」の合計）が約55%であり、半数以上の市民が交通環境に満足している。逆に「不満」（「やや不満」と「大変不満」の合計）の回答は約20%である。
- 笠岡市民では、「満足」が5割弱と半数に満たず、「不満」は約24%である。
- 性別・年齢別の状況をみると、特に「80歳以上の女性」において「不満」の割合が高い。
- 免許の有無別の状況をみると、「運転免許なし」の市民において「不満」の割合が高い。

福山市民



笠岡市民



<性別・年齢別>

福山市民

		合計	1 2 3 4 5					不明・無回答	(1+2) (4+5)		
			大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満		『満足』	『不満』	
男性	実数	816	154	319	178	88	52	25	473	140	
	%	100.0%	18.9%	39.1%	21.8%	10.8%	6.4%	3.1%	58.0%	17.2%	
	50歳代以下	実数	352	60	120	91	48	24	9	180	72
		%	100.0%	17.0%	34.1%	25.9%	13.6%	6.8%	2.6%	51.1%	20.5%
	60歳代	実数	224	37	94	51	21	15	6	131	36
		%	100.0%	16.5%	42.0%	22.8%	9.4%	6.7%	2.7%	58.5%	16.1%
	70歳代	実数	178	45	75	27	13	9	9	120	22
		%	100.0%	25.3%	42.1%	15.2%	7.3%	5.1%	5.1%	67.4%	12.4%
	80歳代以上	実数	59	12	29	9	5	3	1	41	8
		%	100.0%	20.3%	49.2%	15.3%	8.5%	5.1%	1.7%	69.5%	13.6%
女性	実数	1,147	198	403	256	160	83	47	601	243	
	%	100.0%	17.3%	35.1%	22.3%	13.9%	7.2%	4.1%	52.4%	21.2%	
	50歳代以下	実数	616	105	205	164	94	38	10	310	132
		%	100.0%	17.0%	33.3%	26.6%	15.3%	6.2%	1.6%	50.3%	21.4%
	60歳代	実数	250	44	102	47	32	16	9	146	48
		%	100.0%	17.6%	40.8%	18.8%	12.8%	6.4%	3.6%	58.4%	19.2%
	70歳代	実数	194	39	72	28	23	15	17	111	38
		%	100.0%	20.1%	37.1%	14.4%	11.9%	7.7%	8.8%	57.2%	19.6%
	80歳代以上	実数	86	10	24	16	11	14	11	34	25
		%	100.0%	11.6%	27.9%	18.6%	12.8%	16.3%	12.8%	39.5%	29.1%

笠岡市民

		合計	1 2 3 4 5					不明・無回答	(1+2) (4+5)		
			大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満		『満足』	『不満』	
男性	実数	187	31	72	41	22	13	8	103	35	
	%	100.0%	16.6%	38.5%	21.9%	11.8%	7.0%	4.3%	55.1%	18.7%	
	50歳代以下	実数	77	3	34	17	13	8	2	37	21
		%	100.0%	3.9%	44.2%	22.1%	16.9%	10.4%	2.6%	48.1%	27.3%
	60歳代	実数	59	17	19	12	3	3	5	36	6
		%	100.0%	28.8%	32.2%	20.3%	5.1%	5.1%	8.5%	61.0%	10.2%
	70歳代	実数	32	7	14	8	3	0	0	21	3
		%	100.0%	21.9%	43.8%	25.0%	9.4%	0.0%	0.0%	65.6%	9.4%
	80歳代以上	実数	19	4	5	4	3	2	1	9	5
		%	100.0%	21.1%	26.3%	21.1%	15.8%	10.5%	5.3%	47.4%	26.3%
女性	実数	244	39	67	56	33	33	16	106	66	
	%	100.0%	16.0%	27.5%	23.0%	13.5%	13.5%	6.6%	43.4%	27.0%	
	50歳代以下	実数	95	14	30	23	16	10	2	44	26
		%	100.0%	14.7%	31.6%	24.2%	16.8%	10.5%	2.1%	46.3%	27.4%
	60歳代	実数	60	13	18	13	7	6	3	31	13
		%	100.0%	21.7%	30.0%	21.7%	11.7%	10.0%	5.0%	51.7%	21.7%
	70歳代	実数	50	7	12	12	5	8	6	19	13
		%	100.0%	14.0%	24.0%	24.0%	10.0%	16.0%	12.0%	38.0%	26.0%
	80歳代以上	実数	36	5	6	7	5	9	4	11	14
		%	100.0%	13.9%	16.7%	19.4%	13.9%	25.0%	11.1%	30.6%	38.9%

図 交通環境満足度

<運転免許の有無別>

福山市民

	合計	1	2	3	4	5	不明・無回答	(1+2)	(4+5)
		大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満		『満足』	『不満』
運転免許あり	実数 1,647	326	628	357	200	89	47	954	289
	% 100.0%	19.8%	38.1%	21.7%	12.1%	5.4%	2.9%	57.9%	17.5%
50歳代以下	実数 881	159	302	228	124	50	18	461	174
	% 100.0%	18.0%	34.3%	25.9%	14.1%	5.7%	2.0%	52.3%	19.8%
60歳代	実数 436	78	182	92	49	23	12	260	72
	% 100.0%	17.9%	41.7%	21.1%	11.2%	5.3%	2.8%	59.6%	16.5%
70歳代	実数 268	73	116	32	21	10	16	189	31
	% 100.0%	27.2%	43.3%	11.9%	7.8%	3.7%	6.0%	70.5%	11.6%
80歳代以上	実数 58	16	26	4	6	5	1	42	11
	% 100.0%	27.6%	44.8%	6.9%	10.3%	8.6%	1.7%	72.4%	19.0%
運転免許なし	実数 329	26	101	79	50	45	28	127	95
	% 100.0%	7.9%	30.7%	24.0%	15.2%	13.7%	8.5%	38.6%	28.9%
50歳代以下	実数 86	6	24	27	17	11	1	30	28
	% 100.0%	7.0%	27.9%	31.4%	19.8%	12.8%	1.2%	34.9%	32.6%
60歳代	実数 40	2	15	7	5	8	3	17	13
	% 100.0%	5.0%	37.5%	17.5%	12.5%	20.0%	7.5%	42.5%	32.5%
70歳代	実数 113	12	35	23	16	14	13	47	30
	% 100.0%	10.6%	31.0%	20.4%	14.2%	12.4%	11.5%	41.6%	26.5%
80歳代以上	実数 88	6	27	21	11	12	11	33	23
	% 100.0%	6.8%	30.7%	23.9%	12.5%	13.6%	12.5%	37.5%	26.1%

笠岡市民

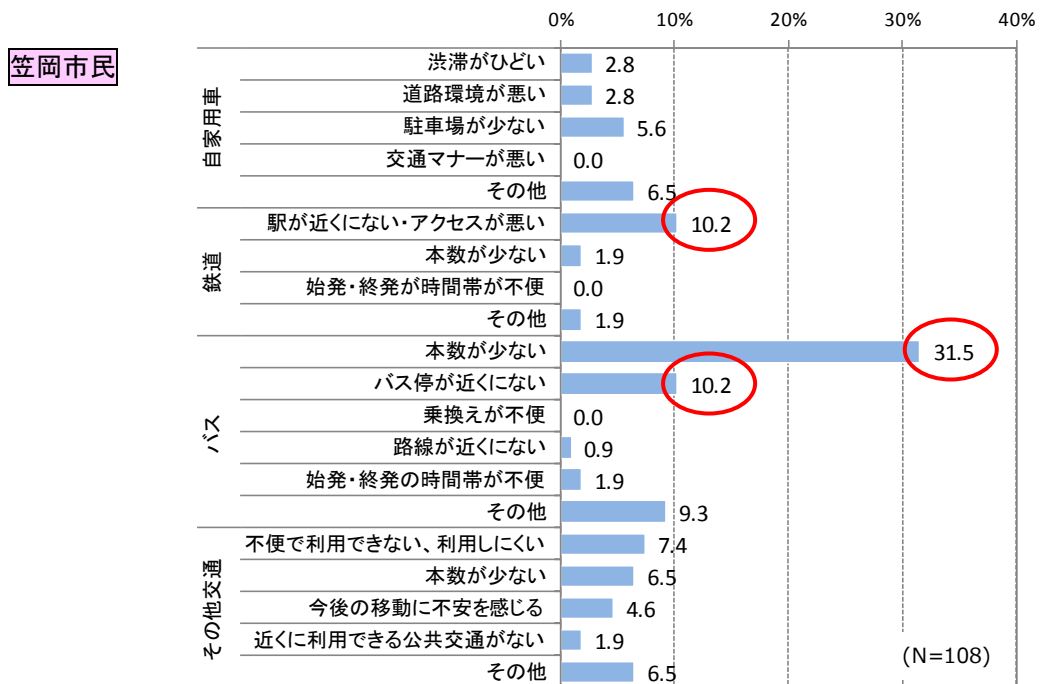
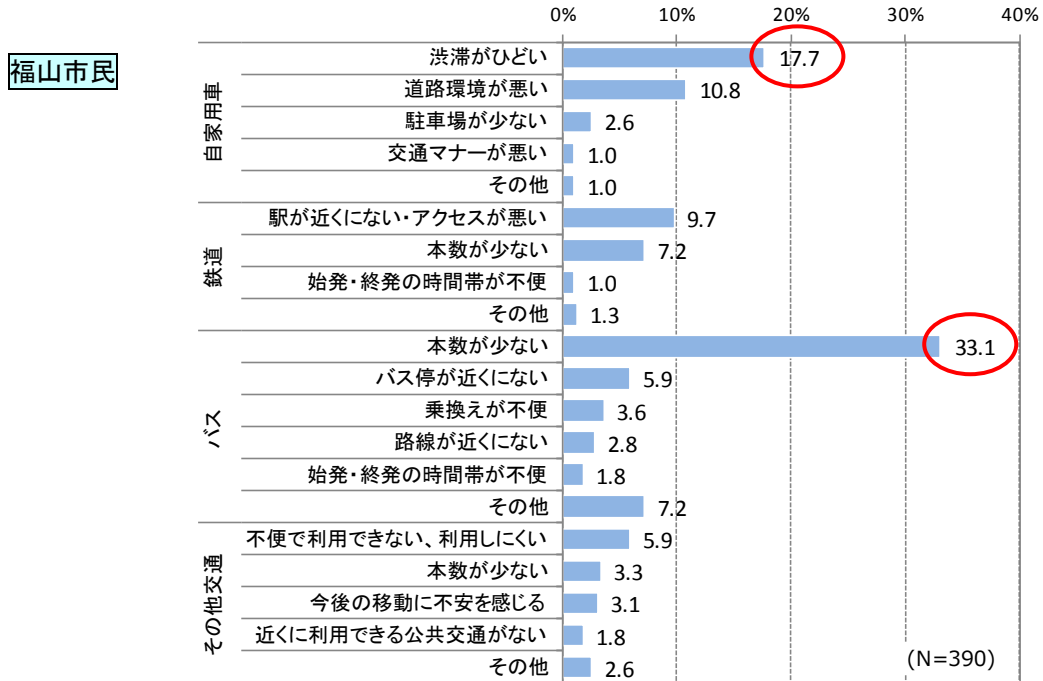
	合計	1	2	3	4	5	不明・無回答	(1+2)	(4+5)
		大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満		『満足』	『不満』
運転免許あり	実数 351	65	120	75	44	29	18	185	73
	% 100.0%	18.5%	34.2%	21.4%	12.5%	8.3%	5.1%	52.7%	20.8%
50歳代以下	実数 155	16	58	36	27	14	4	74	41
	% 100.0%	10.3%	37.4%	23.2%	17.4%	9.0%	2.6%	47.7%	26.5%
60歳代	実数 109	30	33	22	8	8	8	63	16
	% 100.0%	27.5%	30.3%	20.2%	7.3%	7.3%	7.3%	57.8%	14.7%
70歳代	実数 62	13	22	13	6	4	4	35	10
	% 100.0%	21.0%	35.5%	21.0%	9.7%	6.5%	6.5%	56.5%	16.1%
80歳代以上	実数 24	6	6	4	3	3	2	12	6
	% 100.0%	25.0%	25.0%	16.7%	12.5%	12.5%	8.3%	50.0%	25.0%
運転免許なし	実数 79	5	18	22	12	16	6	23	28
	% 100.0%	6.3%	22.8%	27.8%	15.2%	20.3%	7.6%	29.1%	35.4%
50歳代以下	実数 16	1	6	4	2	3	0	7	5
	% 100.0%	6.3%	37.5%	25.0%	12.5%	18.8%	0.0%	43.8%	31.3%
60歳代	実数 10	0	4	3	2	1	0	4	3
	% 100.0%	0.0%	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	40.0%	30.0%
70歳代	実数 21	1	4	7	3	4	2	5	7
	% 100.0%	4.8%	19.0%	33.3%	14.3%	19.0%	9.5%	23.8%	33.3%
80歳代以上	実数 30	3	4	7	4	8	4	7	12
	% 100.0%	10.0%	13.3%	23.3%	13.3%	26.7%	13.3%	23.3%	40.0%

※運転免許は、自動車、バイク、原付の運転免許のこと

図 交通環境満足度（運転免許の有無別）

② 不満の理由（自由回答）

- 両市民ともに、不満の理由として「バスの本数の少なさ」を挙げる意見が最も多い。
- その他の意見としては、福山市民では、「渋滞がひどい」、笠岡市民では「駅が近くにない・アクセスが悪い」と「バス停が近くにない」が多い。



※項目の分類について：

自由回答結果を、内容・キーワードで分類して件数をカウントした。その際、ひとりの意見において複数の内容・キーワードが含まれる場合は、該当するキーワード・項目の全てにカウントしている。（複数回答）

図 不満を感じる理由

4. 各交通モードの利用と満足度

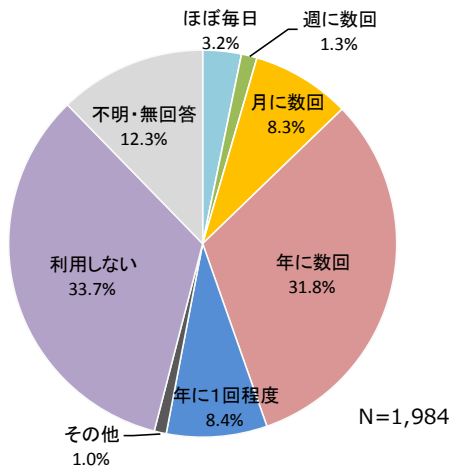
(1) JRの利用と満足度

◆「JRの利用と満足度」は、「市民アンケート結果」を用いて分析

① 利用頻度

- 「利用しない」を除くと、両市民ともに、「年に数回」利用する市民が多く、定期的にご利用している人（「ほぼ毎日」と「週に数回」の合計）は、福山市民で約5%、笠岡市民で約4%である。

福山市民



笠岡市民

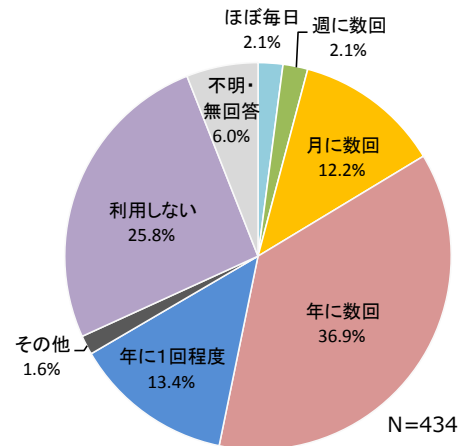
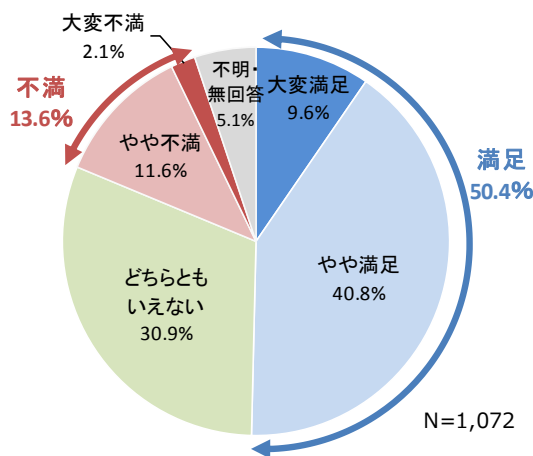


図 市内のJRの利用頻度

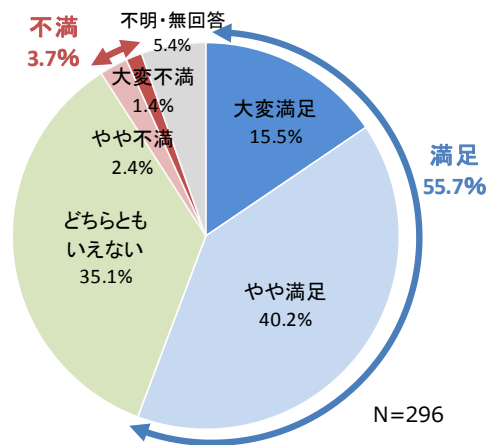
② 満足度

- 福山市民では、「満足」が約5割を占め、また「不満」は14%であり、満足度は高いといえる。
- 笠岡市民でも、「満足」の回答が過半数を占め、逆に「不満」は約4%と少なく、満足度は高い。

福山市民



笠岡市民

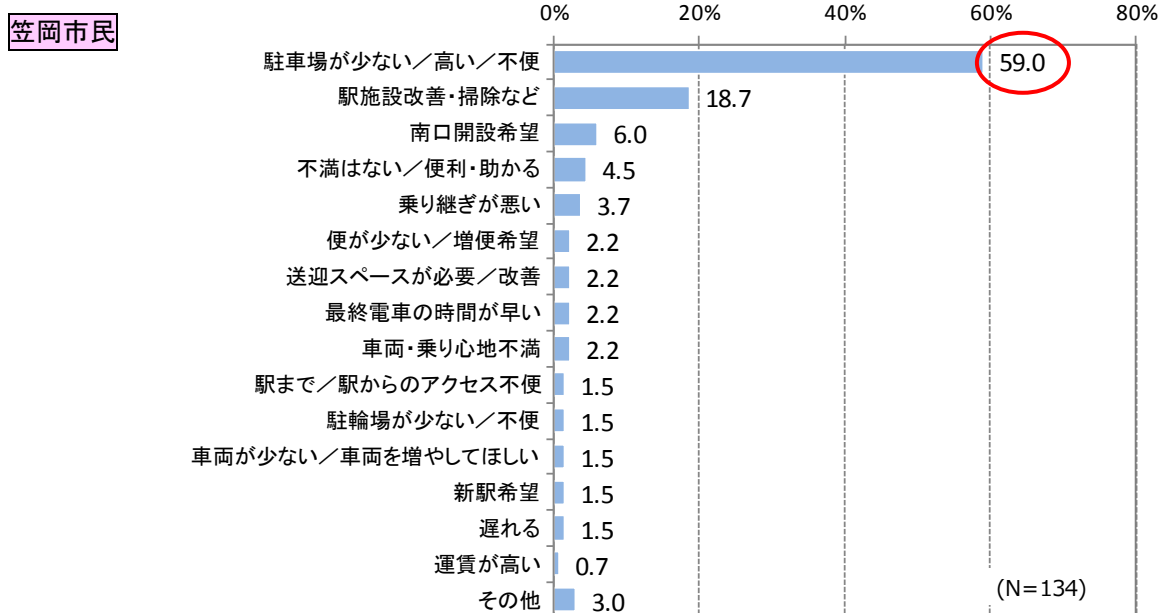
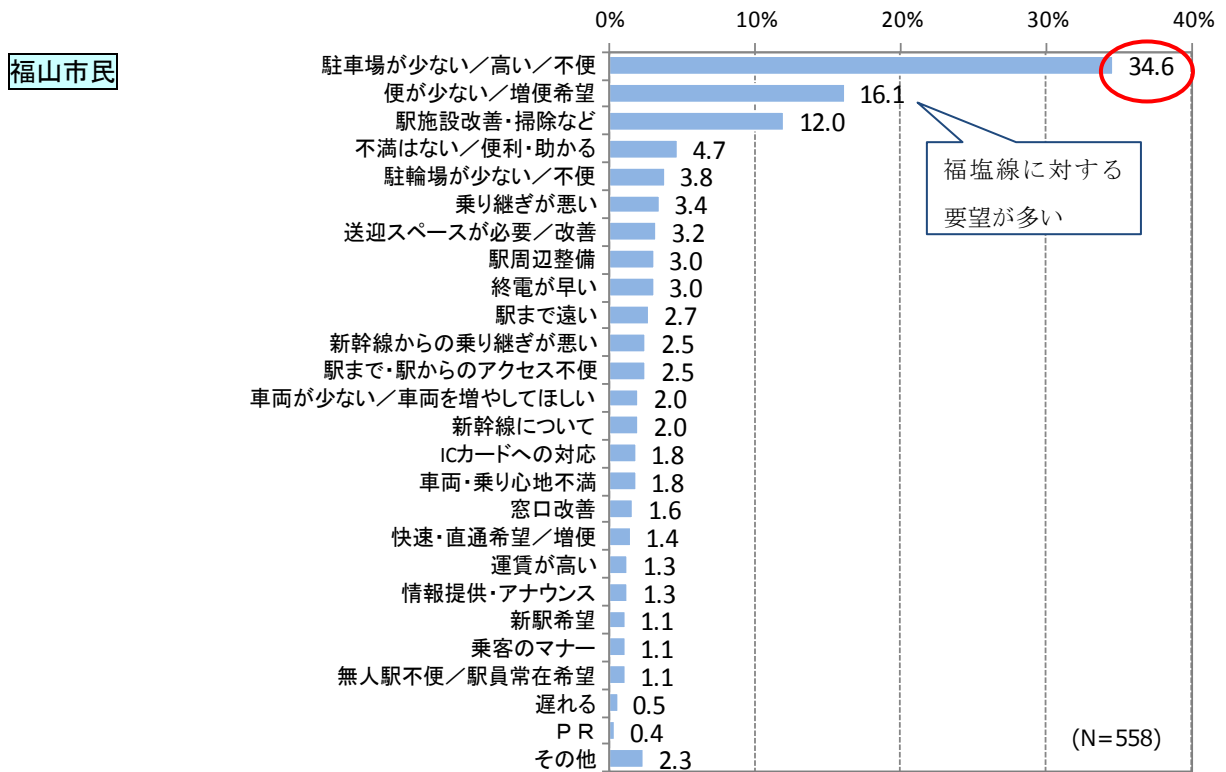


※JRを利用する人のみ回答

図 市内のJRの満足度

③ 要望・意見など（自由意見）

- 市内のJRへの意見では、両市民ともに「駐車場が少ない」など、駅周辺の駐車場に関する意見が最も多い。
- 各市の特徴的な意見としては、福山市民における「増便希望」（福塩線が多い）、笠岡市民における笠岡駅「南口開設希望」等がある。



※複数回答

※利用しない、わからない等の意見は除外

図 市内のJRへの意見

(2) 井原鉄道の利用と満足度 ※福山市民にのみ設問

① 利用頻度

○「利用しない」の福山市民が大多数を占め、逆に定期的に利用する回答者の割合は非常に小さい。

福山市民

◆「井原鉄道の利用と満足度」は、「市民アンケート結果」を用いて分析

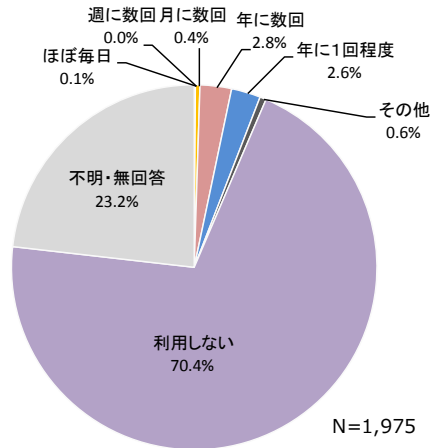
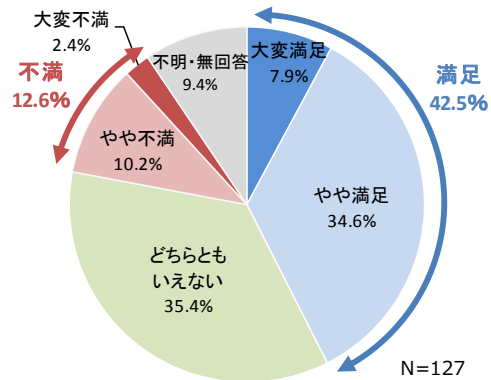


図 井原鉄道の利用頻度

② 満足度

○「満足」が約43%、「不満」が約13%となっており、満足度は高いといえる。

福山市民



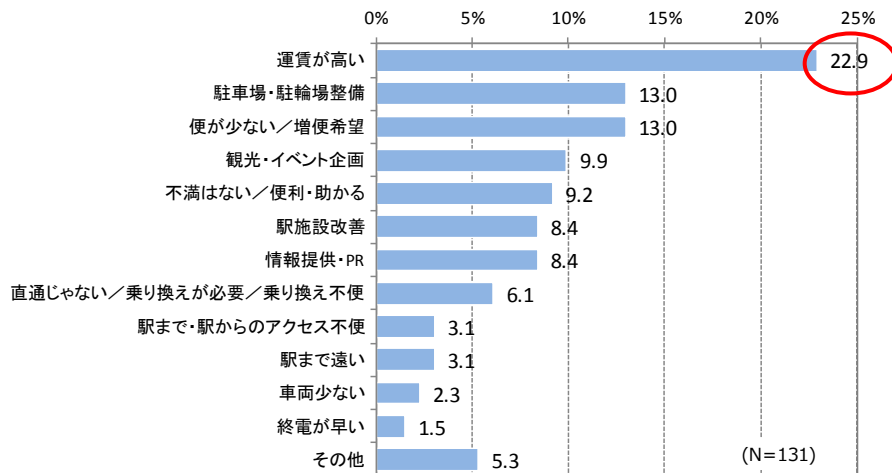
※井原鉄道を利用する人のみ回答

図 井原鉄道の満足度

③ 要望・意見など（自由意見）

○ 井原鉄道への意見では、「運賃が高い」という声が多い。

福山市民



※利用しない、わからない等の意見は除外

図 井原鉄道への意見

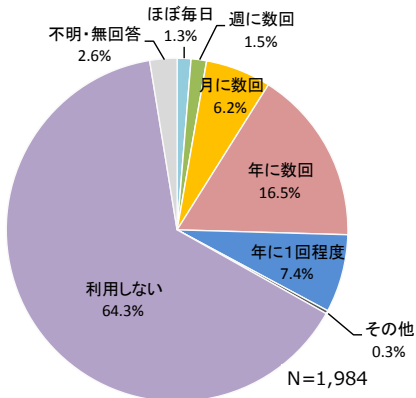
◆「路線バスの利用と満足度」は，“市民アンケート結果”，”路線バス利用者アンケート結果“を用いて分析

(3) 路線バスの利用と満足度

① 利用頻度 ……(市民アンケート結果, 路線バス利用者アンケート結果より)

○ 市民アンケート結果では, 両市民ともに「利用しない」の回答が最も多く, 福山市民は約64%, 笠岡市民は約81%を占める。逆に定期的に利用する人は, 福山市民が約3%, 笠岡市民が約2%と少ない。

福山市民



笠岡市民

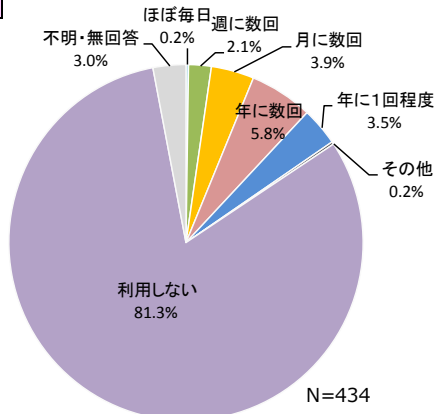


図 市内の路線バス利用頻度 (市民アンケート結果より)

○ バスを利用しない理由を聞くと, 「クルマなど, 他に便利な手段がある」が最も多く, 両市民ともに約8割を占める。

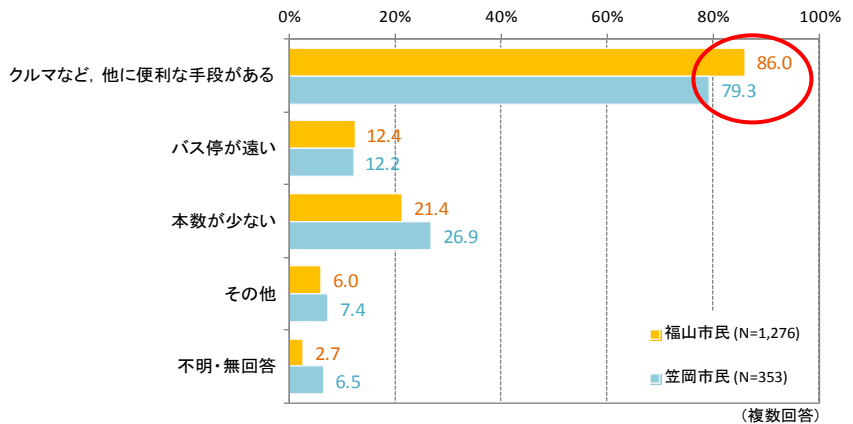
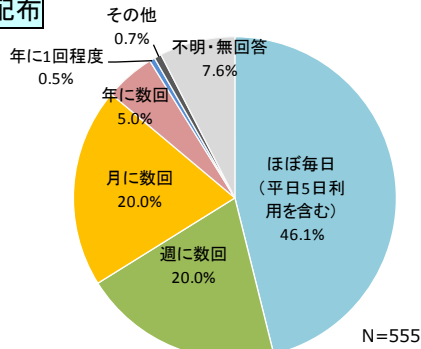


図 バスを利用しない理由 (市民アンケート結果より)

○ 一方で, バスの利用者に直接配布したアンケート結果では, 「ほぼ毎日」利用する方が, 福山駅配布で約46%, 笠岡駅配布で約56%と多く, 「週に数回」も含めた定期利用者の割合でみると, 両者とも約7割を占める。

福山駅配布



笠岡駅配布

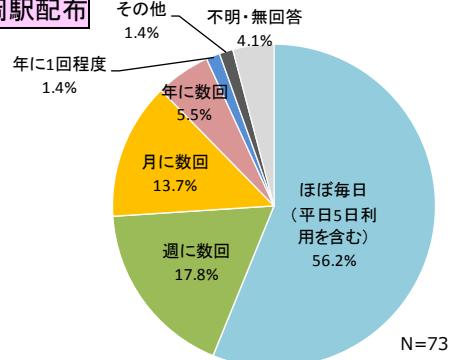


図 路線バスの利用頻度 (路線バス利用者アンケート結果より)

② 移動目的 …… (路線バス利用者アンケート結果より)

- 福山駅配布, 笠岡駅配布の両者において「通勤」目的が最も多い。その他としては, 福山駅配布では「通院」「レジャー等」が多いが, 笠岡駅前では, 「通学」「通院」の割合が高い。
- なお, 一般の方に比べて, 生徒等はアンケート調査を回答されない割合が高いことが想定できる。よって実際の利用では, 「通学」目的の割合がさらに大きいと考えられる。

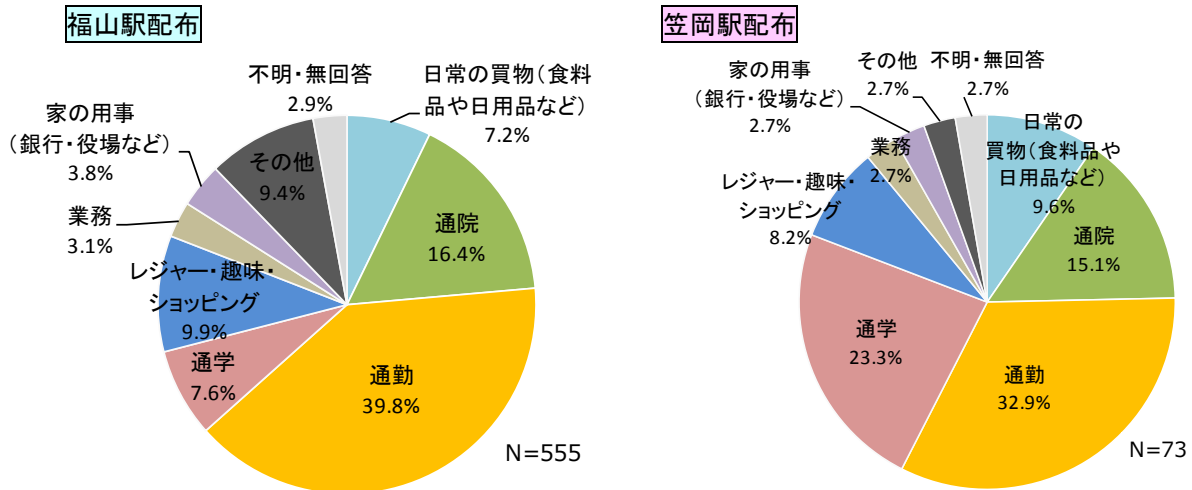


図 移動の目的 (路線バス利用者アンケート結果より)

③ バスを利用した理由 …… (路線バス利用者アンケート結果より)

- 福山駅配布では, 「行きたい場所までルートがある」が約5割を占めて最も多く, 次いで「バス以外に交通手段がない」, 「利用したい時間に運行している」の順となっている。
- 笠岡駅では, 「バス以外に交通手段がない」が約5割を占めて最も多く, 次いで「行きたい場所までルートがある」, 「車または免許を有していない」と続く。
- これらより, 行動に見合ったバスサービスの提供があるが故に利用した人や, 手段選択が限定している人の利用が多いと考えられる。

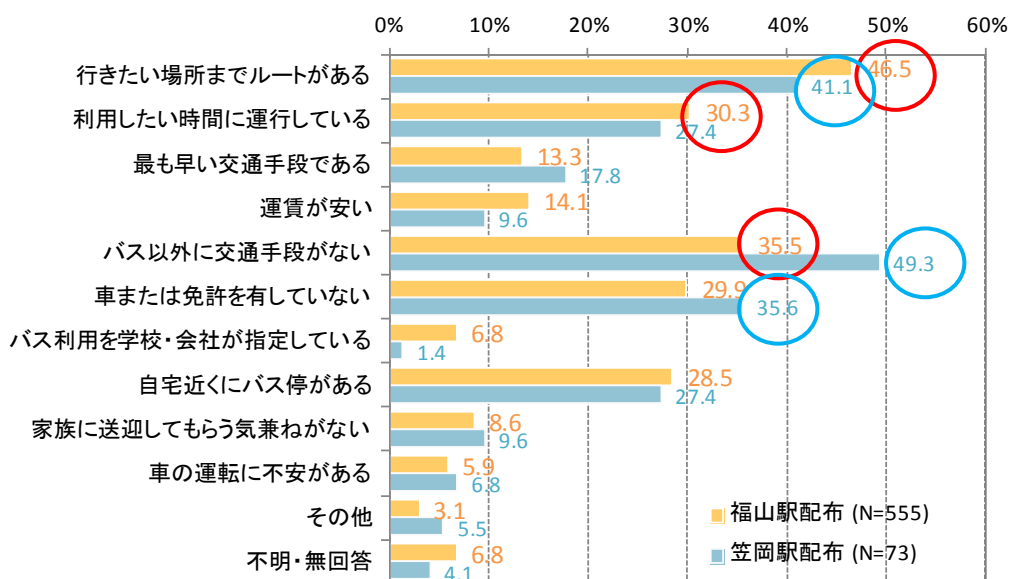
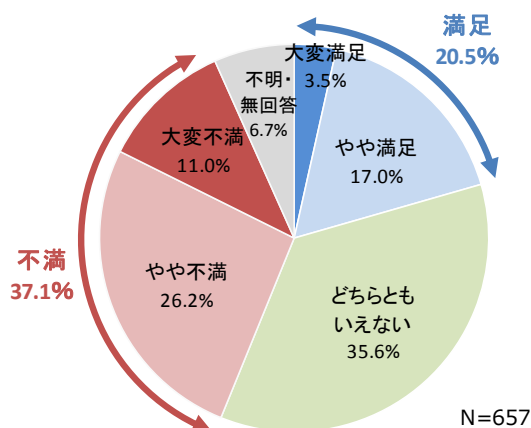


図 路線バスを利用した理由 (路線バス利用者アンケート結果より)

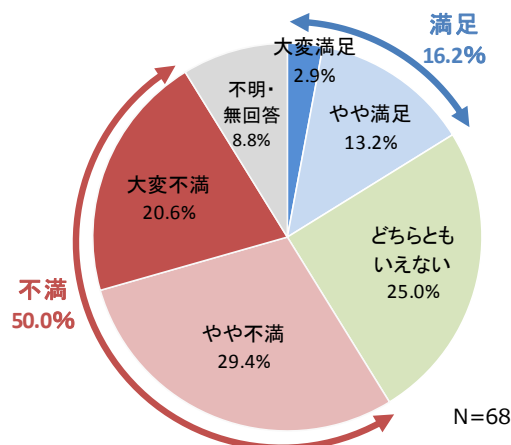
④ 満足度 ・ ・ ・ (市民アンケート結果, 路線バス利用者アンケート結果より)

- 福山市民における路線バスの満足度では、「不満」が約4割で、「満足」の約2割を上回っている。
- さらに笠岡市民では、「不満」の回答が半数を占めており、逆に「満足」は約16%と少ない。

福山市民



笠岡市民

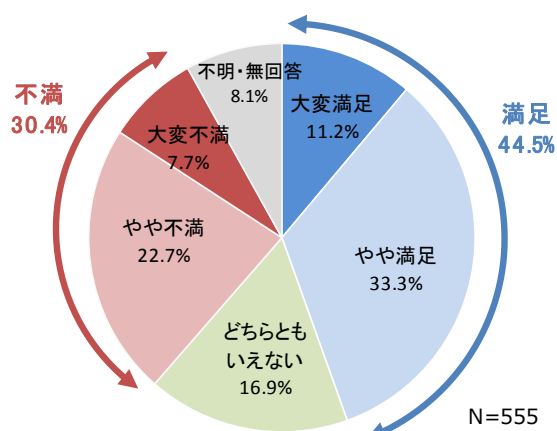


※路線バスを利用する人のみ回答

図 福山市内・笠岡市内の路線バスの満足度 (市民アンケート結果より)

- 一方で、路線バス利用者アンケート結果によると、「満足」の割合が「不満」を上回っており、満足度が高い結果になっている。
- よって、定期的にバスを利用している方にとっては、比較的利便性の高い移動手段になっていると言える。

福山駅配布



笠岡駅配布

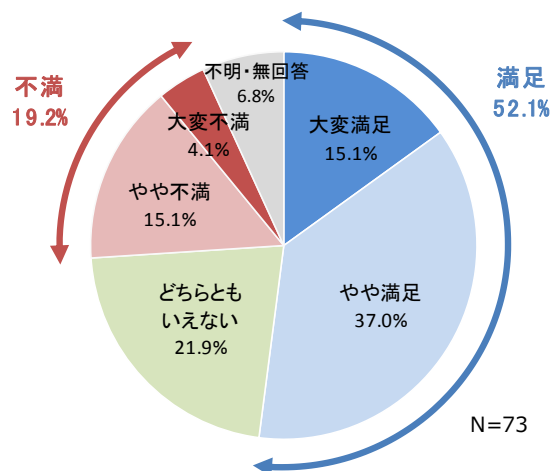
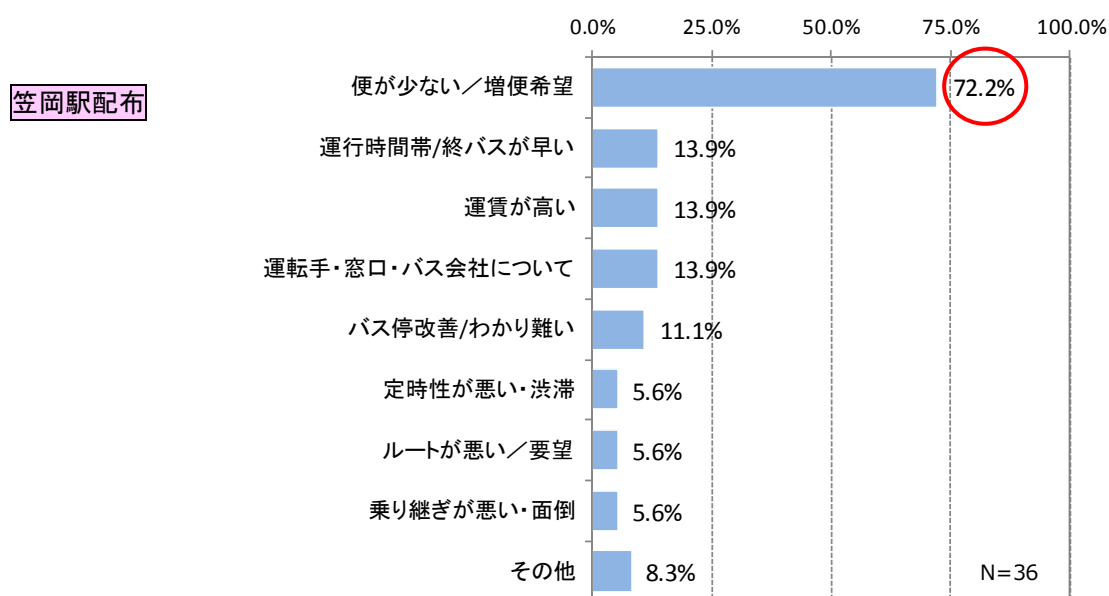
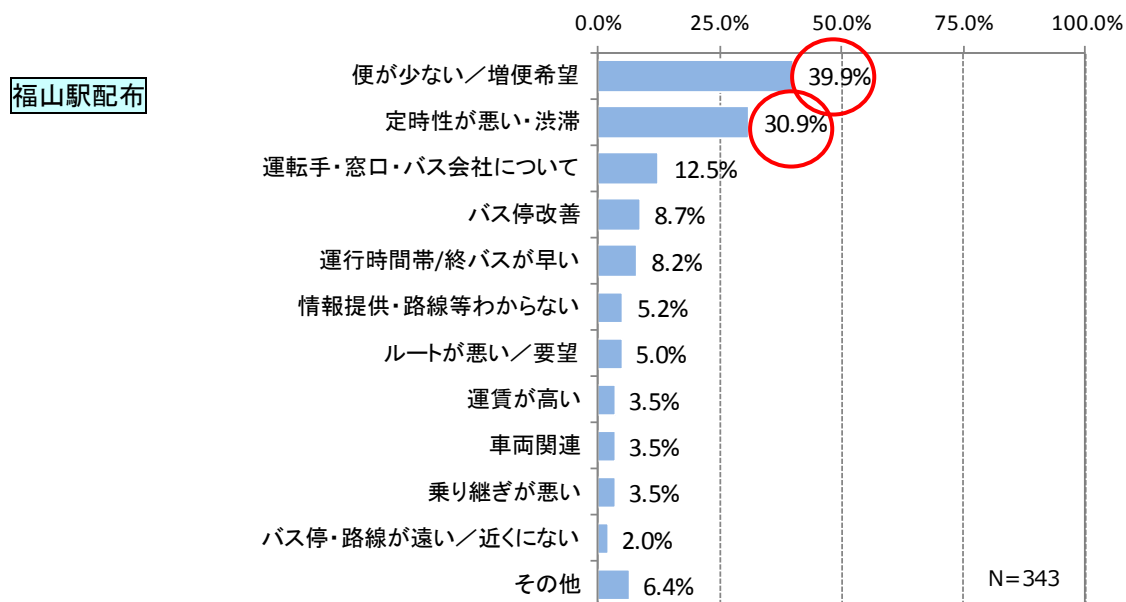


図 路線バスの満足度 (路線バス利用者アンケート結果より)

⑤ 不満に思うこと・要望など（自由意見）・・・（路線バス利用者アンケート結果より）

- 路線バス利用者アンケート結果によると、便が少ないなどの「増便」に関する要望が最も多く、特に笠岡駅配布の結果では約7割を占める。
- その他の意見では、福山駅配布において、「定時性の悪さや渋滞問題」に関する意見が多いことが特徴的である。



※複数回答

図 不満に思う内容や改善要望（路線バス利用者アンケート結果より）

- なお、バスを利用しない回答者を含む市民アンケート結果でも、上図と同様の項目が挙がっているが、特に「便数が少ない／増便希望」に関する意見が、他の意見に比べて極端に多くなっている。

◆「乗合タクシーの利用と満足度」は、「乗合タクシー利用者アンケート結果」を用いて分析

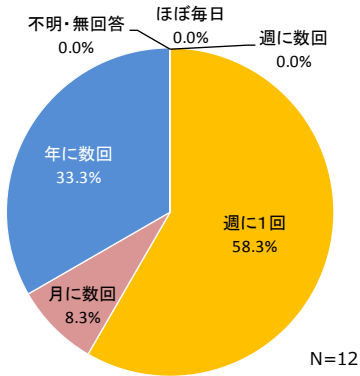
(4) 乗合タクシーの利用と満足度

① 利用頻度

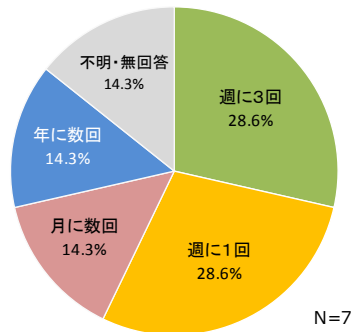
- 福山市・竹尋学区では、「週に1回」が約6割と最も多く、次いで「年に数回」が約3割となっている。また、中条学区では、「週に3回」と「週に1回」ともに約3割である。
- 笠岡市では、利用頻度は少なく、「月に数回」が約8割を占める。

福山市

【竹尋】



【中条】



笠岡市

【大島】

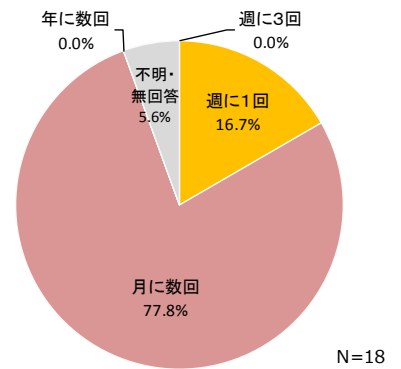
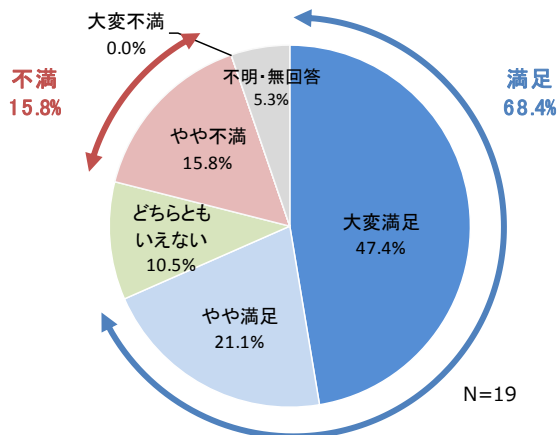


図 利用頻度（乗合タクシー利用者アンケート結果より）

② 満足度

- 福山市の竹尋学区、中条学区を合わせた満足度では、「満足」が約7割を占める。また笠岡市の大島地区では、「満足」が約8割を占める。
- これらより、利用される方にとって、満足度が比較的高い手段となっていることがわかる。

福山市



笠岡市

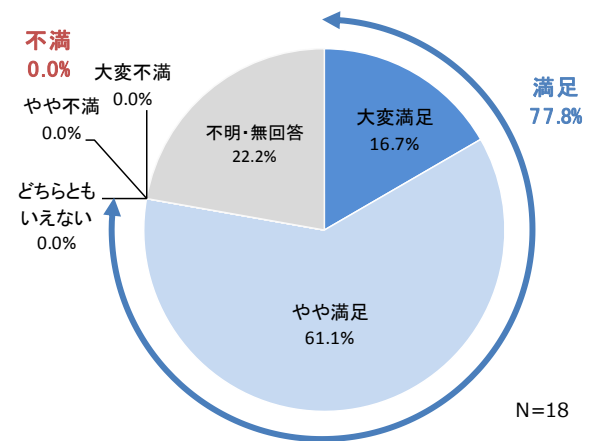


図 満足度（乗合タクシー利用者アンケート結果より）

③ サービス内容の不満

- 福山市の乗合タクシーでは、運行経路に対して約3割の利用者が不満を感じている。
- 笠岡市では運行曜日の不満が比較的多く、2割弱を占める。

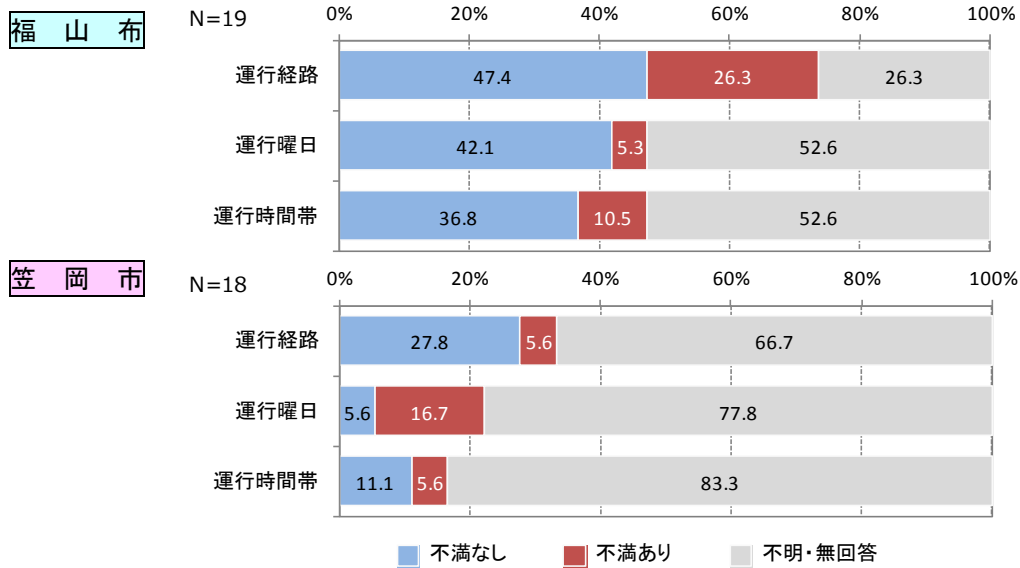


図 サービス内容の不満の有無 (乗合タクシー利用者アンケート結果より)

④ 今後の利用の妨げになる要因

- 利用の妨げになる要因として、福山市では「予約が面倒」が約3割と最も多く、次いで「停留所までの歩行が辛い」が26.3%と続く。
- 笠岡市では、「停留所までの歩行が辛い」が約3割と最も多い。

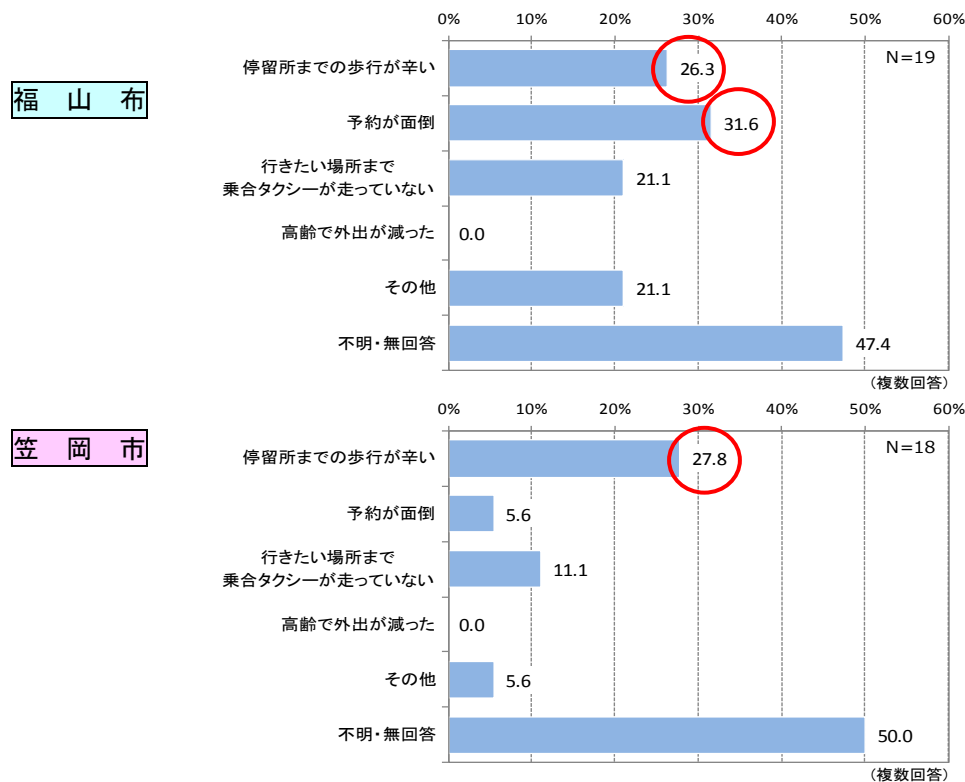


図 今後の利用の妨げになる要因 (乗合タクシー利用者アンケート結果より)

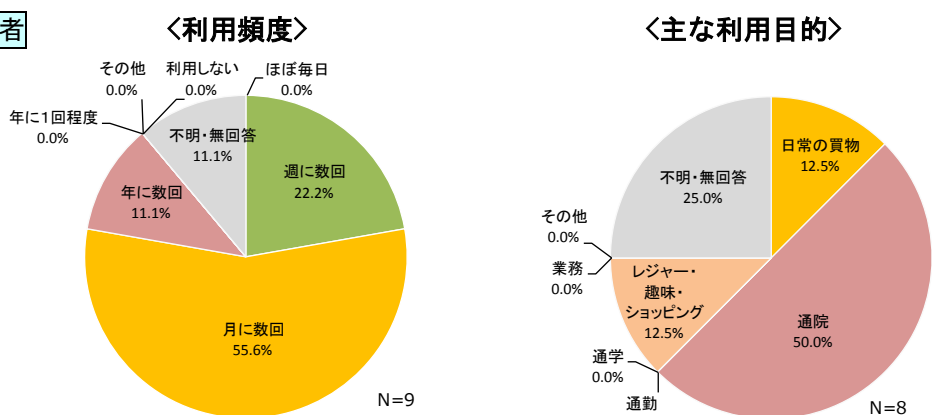
◆「航路（走島航路，笠岡諸島航路）の利用と満足度」は，“市民アンケート結果”を用いて分析

(5) 航路（走島航路，笠岡諸島航路）の利用と満足度

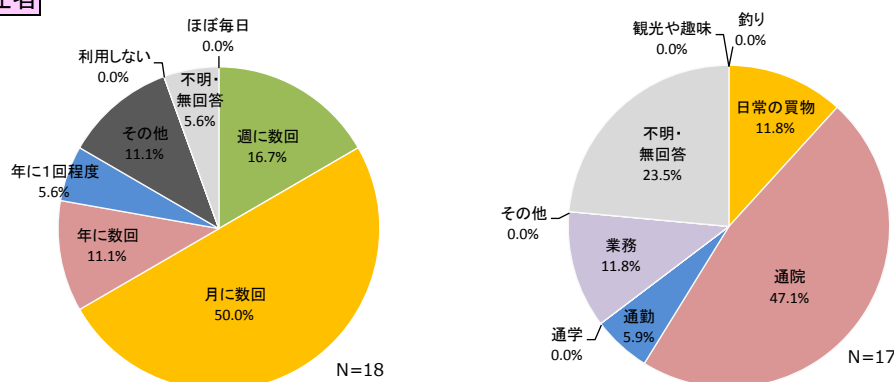
① 利用頻度

- サンプル数が少ないものの，福山市走島居住者における航路の利用頻度は「月に数回」が最も多く約56%を占めるが，「週に数回」といった定期的な利用も約2割を占める。
- 笠岡市島しょ部居住者の航路の利用でも，「月に数回」が半数を占めて最も多く，次いで「週に数回」が約17%である。
- なお，笠岡市内の島しょ部以外の居住者では，航路を利用する割合は2割弱程度であるが，その頻度は少なく，主な利用目的では「観光や趣味」が多い。

【福山市】走島居住者



【笠岡市】島しょ部居住者



【笠岡市】島しょ部以外

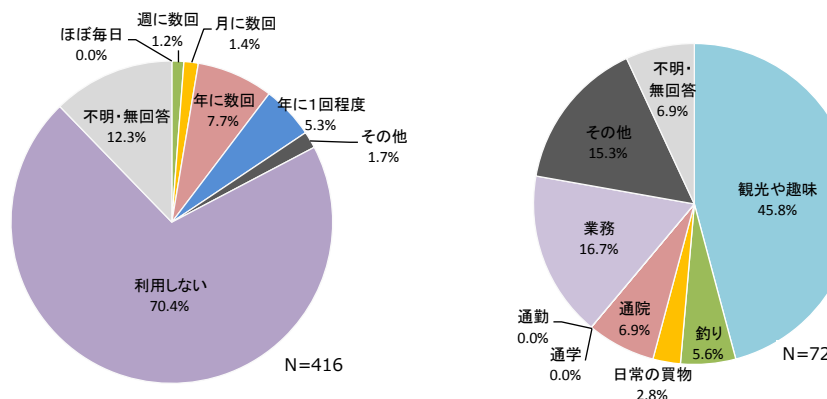


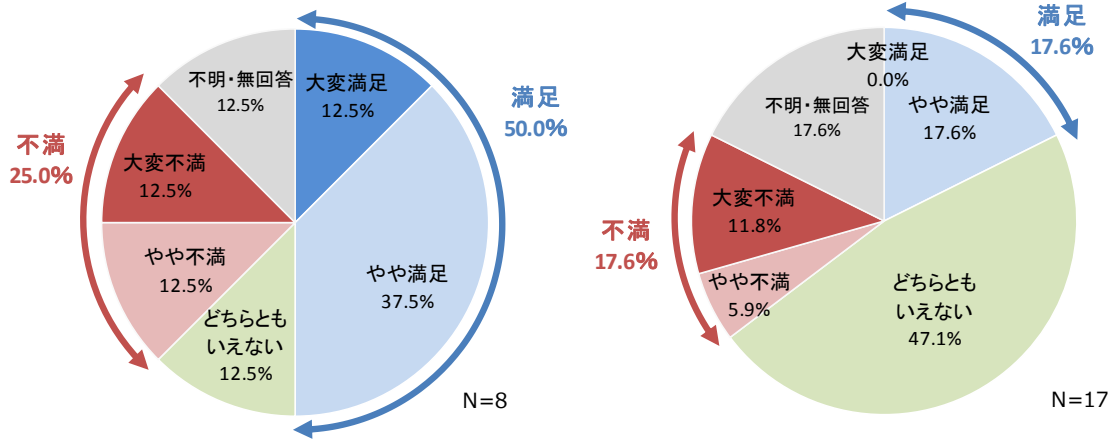
図 福山市内・笠岡市内の航路利用頻度と目的

② 満足度（利用する回答者のみ）

- 福山市走島居住者では、「満足」の回答が約5割、「不満」が約25%で、比較的満足度は高い。
- 笠岡市島しょ部居住者では、「満足」「不満」がともに2割弱を占める。

【福山市】走島居住者

【笠岡市】島しょ部居住者

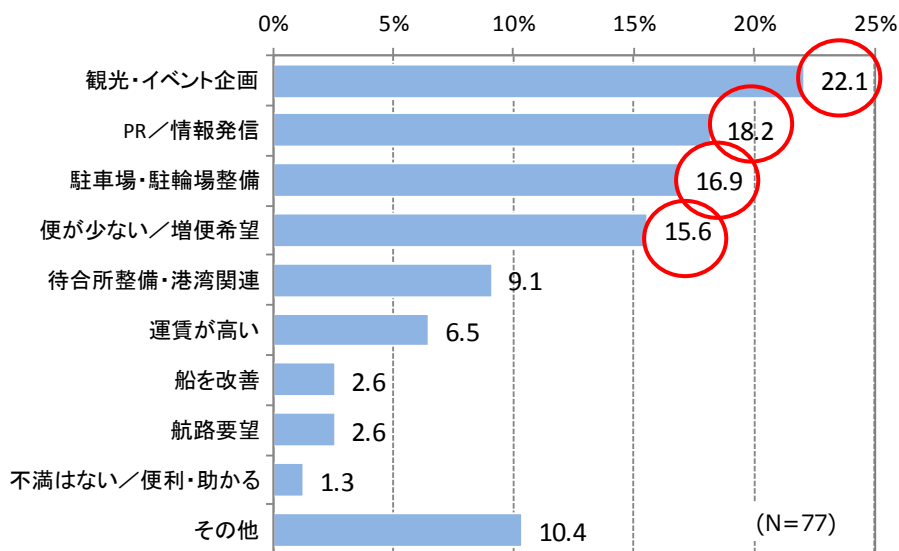


※航路を利用する人のみ回答

図 笠岡市内の航路の満足度

③ 要望・意見など（自由意見） ※笠岡諸島航路のみ

- 笠岡諸島航路への意見では、利用促進に向けた「観光・企画イベント」に関する意見が最も多く、その他では「PR／情報発信」関連や、港湾付近への「駐車場・駐輪場整備」、「増便要望」などの意見が挙げられている。



※複数回答あり

図 笠岡諸島航路への意見

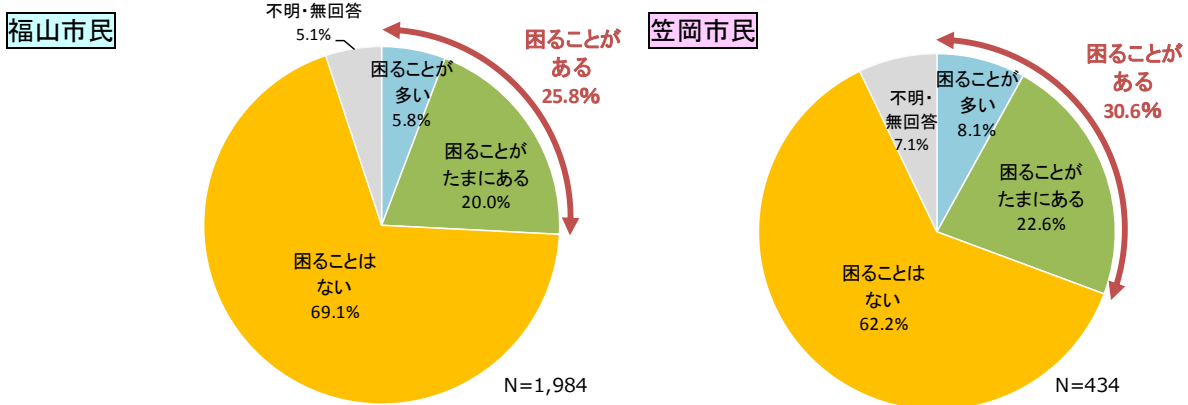
- なお、走島航路への意見としては4件の回答があり、うち2件が増便要望、残り2件がダイヤ関連の意見である。

◆「移動が不便な行き先」は、「市民アンケート結果」を用いて分析

5. 移動が不便な行き先

① 外出時に交通手段がなくて困ること

- 両市民ともに、「困ることはない」が多く6割を超えているが、困ることがある人（「困ることが多い」と「困ることがたまにある」の合計）の割合は、福山市民では26%、笠岡市民では31%と、約3割の人が外出時の交通手段に困っている。
- 性別では女性の方が男性よりも移動で困る人が多く、また年齢別では70歳以上において困る人が多くなっている。



<性別・年齢別>

福山市民

	合計	1	2	3	不明・無回答	(1+2)
		困ることが多い	困ることがたまにある	困ることはない		『ある』
男性	実数 816 % 100.0%	34 (4.2%)	141 (17.3%)	602 (73.8%)	39 (4.8%)	175 (21.4%)
50歳代以下	実数 352 % 100.0%	15 (4.3%)	68 (19.3%)	258 (73.3%)	11 (3.1%)	83 (23.6%)
60歳代	実数 224 % 100.0%	7 (3.1%)	38 (17.0%)	171 (76.3%)	8 (3.6%)	45 (20.1%)
70歳代	実数 178 % 100.0%	6 (3.4%)	25 (14.0%)	139 (78.1%)	8 (4.5%)	31 (17.4%)
80歳代以上	実数 59 % 100.0%	6 (10.2%)	8 (13.6%)	33 (55.9%)	12 (20.3%)	14 (23.7%)
女性	実数 1,147 % 100.0%	80 (7.0%)	253 (22.1%)	753 (65.6%)	61 (5.3%)	333 (29.0%)
50歳代以下	実数 616 % 100.0%	23 (3.7%)	134 (21.8%)	449 (72.9%)	10 (1.6%)	157 (25.5%)
60歳代	実数 250 % 100.0%	13 (5.2%)	49 (19.6%)	172 (68.8%)	16 (6.4%)	62 (24.8%)
70歳代	実数 194 % 100.0%	25 (12.9%)	51 (26.3%)	99 (51.0%)	19 (9.8%)	76 (39.2%)
80歳代以上	実数 86 % 100.0%	19 (22.1%)	19 (22.1%)	32 (37.2%)	16 (18.6%)	38 (44.2%)

笠岡市民

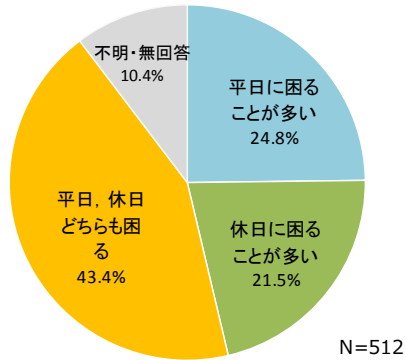
	合計	1	2	3	不明・無回答	(1+2)
		困ることが多い	困ることがたまにある	困ることはない		『ある』
男性	実数 187 % 100.0%	4 (2.1%)	40 (21.4%)	130 (69.5%)	13 (7.0%)	44 (23.5%)
50歳代以下	実数 77 % 100.0%	1 (1.3%)	19 (24.7%)	53 (68.8%)	4 (5.2%)	20 (26.0%)
60歳代	実数 59 % 100.0%	1 (1.7%)	12 (20.3%)	43 (72.9%)	3 (5.1%)	13 (22.0%)
70歳代	実数 32 % 100.0%	0 (0.0%)	4 (12.5%)	26 (81.3%)	2 (6.3%)	4 (12.5%)
80歳代以上	実数 19 % 100.0%	2 (10.5%)	5 (26.3%)	8 (42.1%)	4 (21.1%)	7 (36.8%)
女性	実数 244 % 100.0%	31 (12.7%)	56 (23.0%)	139 (57.0%)	18 (7.4%)	87 (35.7%)
50歳代以下	実数 95 % 100.0%	8 (8.4%)	21 (22.1%)	66 (69.5%)	0 (0.0%)	29 (30.5%)
60歳代	実数 60 % 100.0%	2 (3.3%)	11 (18.3%)	43 (71.7%)	4 (6.7%)	13 (21.7%)
70歳代	実数 50 % 100.0%	9 (18.0%)	16 (32.0%)	20 (40.0%)	5 (10.0%)	25 (50.0%)
80歳代以上	実数 36 % 100.0%	12 (33.3%)	8 (22.2%)	9 (25.0%)	7 (19.4%)	20 (55.6%)

図 外出時に交通手段がなくて困ることの有無

② 移動で困ることが多い曜日（平日・休日）

○ 両市民ともに「平日、休日どちらも困る」が最も多く4割を超えている。

福山市民



笠岡市民

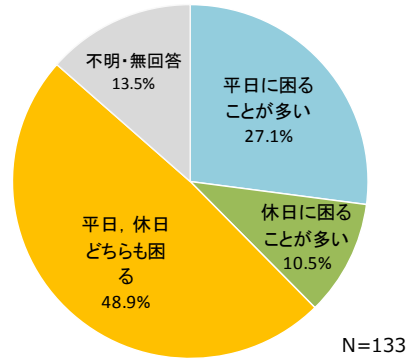


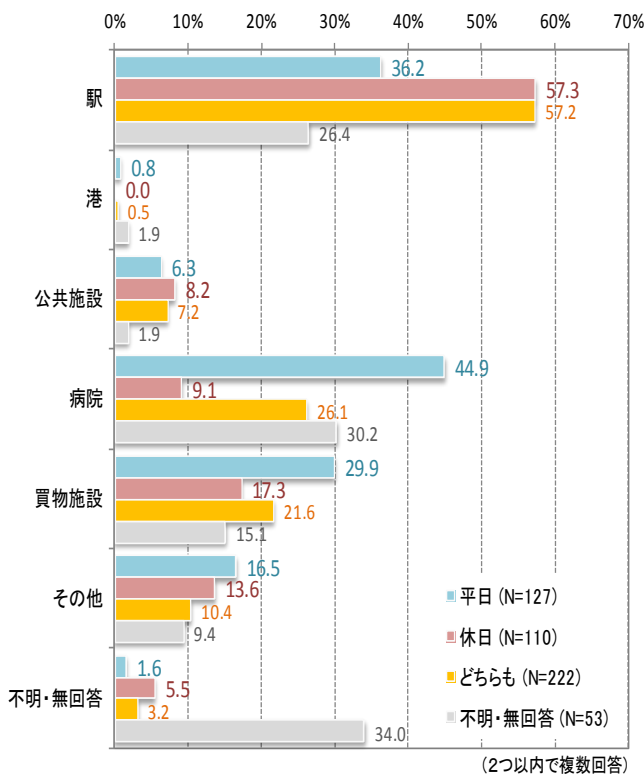
図 移動で困ることが多い曜日（平日・休日）

③ 移動で困る場合の行き先（施設の種類の）

○ 福山市民では、訪問に困る施設として「駅」を挙げる回答が最も多く、次いで平日の「病院」の回答が多い。具体的な施設として、「駅」では福山駅、「病院」では福山市民病院などの回答が挙がっている。

○ 笠岡市民でも、「駅」や「病院」の回答が多いが、休日の「買物施設」の回答も比較的多い。具体的な施設では、「駅」では笠岡駅、「病院」では笠岡第一病院、笠岡市立市民病院などの回答が挙がっている。

福山市民



笠岡市民

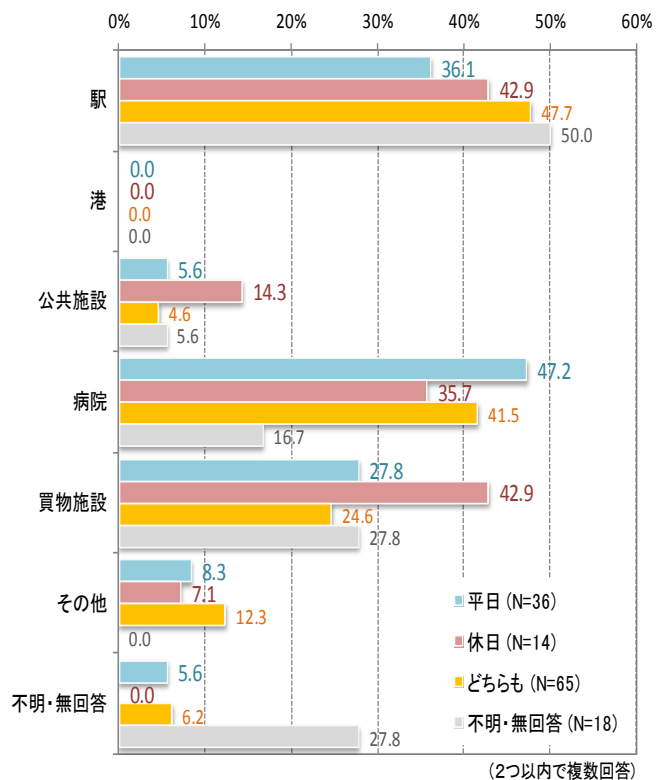
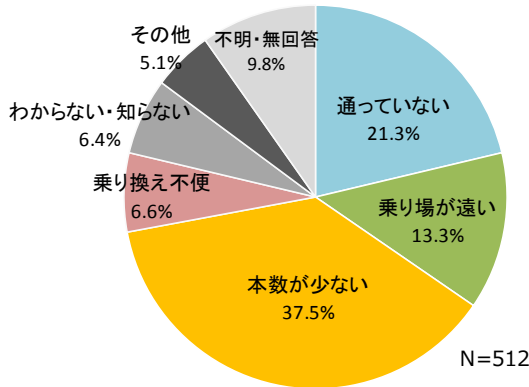


図 移動に困る行き先（施設の種類の）

④ 公共交通で訪問する場合の問題点

- 移動に困る施設まで、公共交通で訪問する場合の問題点としては、両市民ともに、バス等はあるが「本数が少ない」とする回答が最も多く、約4割を占める。次いで「路線が通っていない」、「乗り場が遠い」の順となっている。

福山市民



笠岡市民

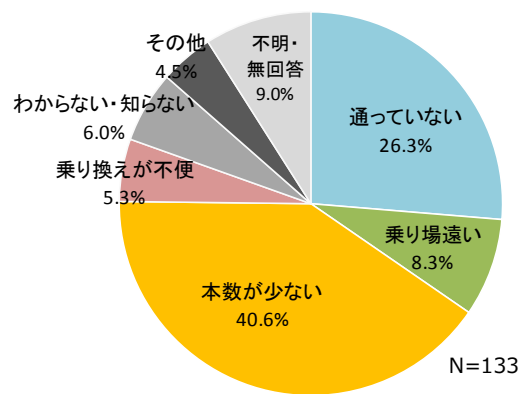
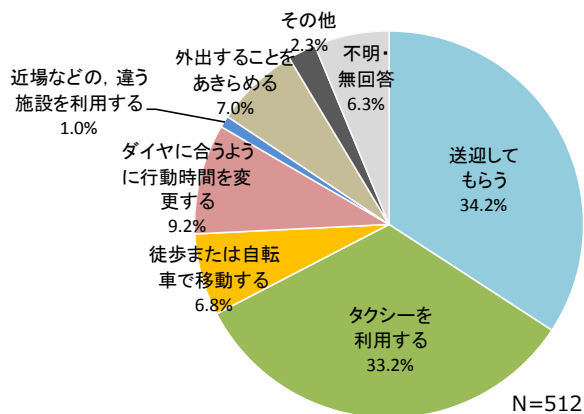


図 公共交通で行く時の問題点

⑤ 移動に困る場合の対処方法

- 両市民ともに「送迎してもらう」、「タクシーを利用する」を合わせて約7割を占めるなど、多くの市民は何らかの移動手段で目的地を訪れていることがうかがえる。
- ただし、福山市民で約7%、笠岡市民で約5%は「外出をあきらめる」と回答している。

福山市民



笠岡市民

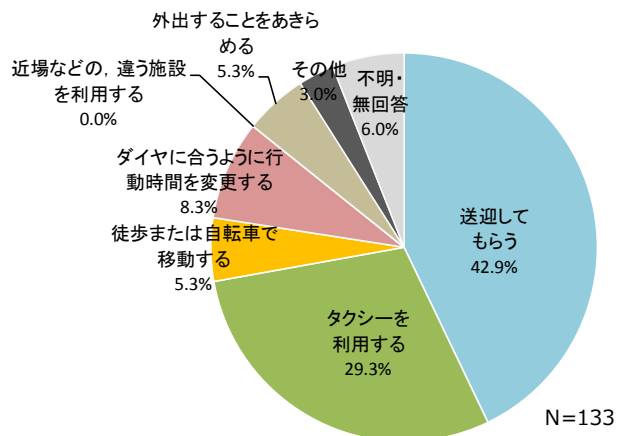


図 移動に困る場合の対処方法

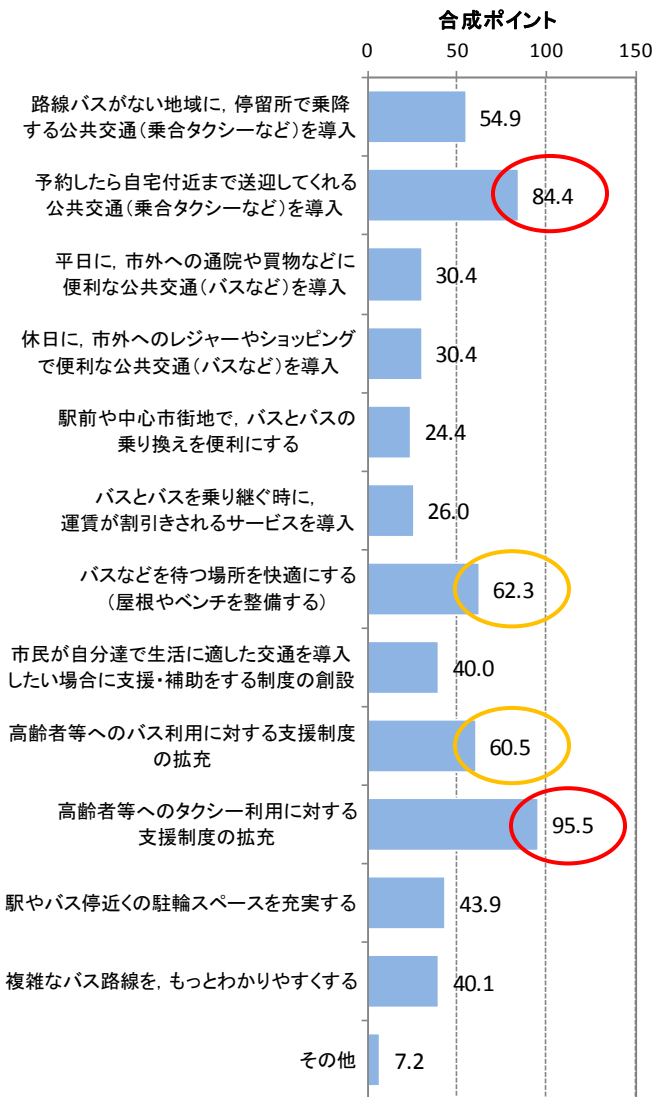
6. 公共交通の取組について

◆「公共交通の取組について」は、「市民アンケート結果」を用いて分析

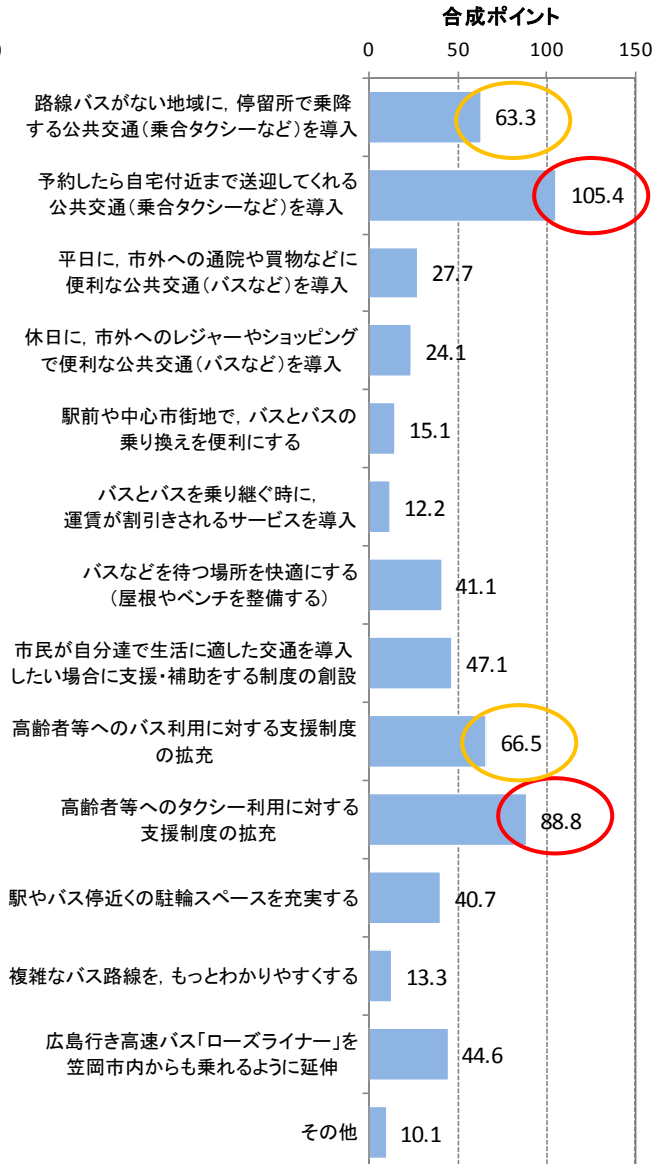
① 重要と思う公共交通の取組

- 福山市民、笠岡市民ともに、「高齢者等へのタクシー利用に対する支援制度の拡充」、「予約したら自宅付近まで送迎してくれる公共交通を導入」が上位に位置する。
- その他では、「高齢者等へのバス利用に対する支援制度の拡充」、「路線バスがない地域に、停留所で乗降する公共交通を導入」、「バスなどを待つ場所を快適にする」が多い。
- これらより、高齢者に対する移動支援への要望や、自宅近くへの新たな公共交通の導入等のニーズが高いことがわかる。

福山市民



笠岡市民



※合成ポイント算出方法：

重要と思う「第1位」、「第2位」、「第3位」の取組の(不明・無回答を除いた)構成比(×100)に対して、「第1位」を3ポイント、「第2位」を2ポイント、「第3位」を1ポイントとして、合成ポイントを算出。

図 重要と思う公共交通の取組

② 要望や利用促進のアイデアなど（自由意見）

- 福山市民では、地域への新しい「小型バス・乗合タクシー」の導入、「運賃割引」、「路線見直し」などを求める意見などが挙がっている。
- 笠岡市民でも、地域への新しい「小型バス・乗合タクシー」の導入が最も多く、第2位で「バス増便」に関する意見が挙がっている。

表 要望や利用促進のアイデアなど

福山市民

順位	内容・キーワード	件数	構成比(%)
1	小型バス・乗合タクシー	67	10.6
2	運賃が高い、運賃割引	61	9.7
3	路線導入・見直し	56	8.9
4	バス増便	53	8.4
5	バス車両（小型化・低床・車内他）	43	6.8
6	自宅付近まで・フリー乗降	42	6.6
7	情報（路線図・システム等）	42	6.6
8	市の補助・助成など	39	6.2
9	買物・通院への手段	36	5.7
10	駐輪場・駐車場整備	35	5.5

笠岡市民

順位	内容・キーワード	件数	構成比(%)
1	小型バス・乗合タクシー	24	18.9
2	バス増便	20	15.7
3	運賃が高い、運賃割引	17	13.4
4	自宅付近まで・フリー乗降	16	12.6
5	バス車両（小型化・低床・車内他）	10	7.9
6	買物・通院への手段	10	7.9
7	市の補助・助成など	8	6.3
8	路線導入・見直し	6	4.7
9	駐輪場・駐車場整備	6	4.7
10	ポイント・商店等連携	5	3.9

※複数回答

IV. 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約

(設置)

第1条 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号。以下「法」という。）

第6条第1項の規定に基づき、福山市及び笠岡市の区域内において地域公共交通網形成計画（以下「網形成計画」という。）の作成及び実施に関する協議を行うため、福山・笠岡地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(事務所)

第2条 協議会は、事務所を広島県福山市東桜町3番5号に置く。

(事業)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 網形成計画の策定及び変更に関する協議に関すること。
- (2) 網形成計画の実施に関する協議に関すること。
- (3) 網形成計画に位置付けられた事業の実施に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第4条 協議会は、会長1名、副会長若干名及び委員をもって組織する。

(協議会の委員)

第5条 協議会の委員は、別表第1に掲げる団体又は機関等の代表者、若しくは当該代表者に指名された者とする。

(会長及び副会長)

第6条 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。この場合、会長があらかじめ指名した順序で、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議決は、出席委員（第6項に規定する代理人を含む。）の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 4 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支

障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

- 5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議へ出席を依頼し、助言等を求めることができる。
- 6 委員は、会議に代理人を出席させることができる。ただし、学識経験者の委員はこの限りでない。
- 7 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(書面審議)

第8条 会長は、緊急その他やむを得ない事情により会議を開催することができないと認めるときは、書面審議により、議事を決することができる。

(協議結果の尊重義務)

第9条 協議会で協議が整った事項について、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(地域部会)

第10条 第3条各号に掲げる事業について、福山市及び笠岡市それぞれの行政区域内における専門的な調査、検討その他必要な調整等を行うため、協議会に福山地域部会及び笠岡地域部会（以下、総称して「地域部会」という。）を置く。

- 2 地域部会の委員は、別表第2に掲げる団体又は機関等の代表者、若しくは当該代表者に指名された者とする。
- 3 それぞれの地域部会に部会長、副部会長各1名を置き、それぞれの地域部会の委員の互選により定める。
- 4 地域部会の運営その他必要な事項は、部会長が別に定める。

(分科会)

第11条 第3条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討その他必要な調整等を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

- 2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第12条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局は、福山市建設局都市部都市交通課と笠岡市政策部企画政策課とが共同してその任にあたる。
- 3 事務局には、事務局長、事務局次長及び事務局員を置き、次の各号に定める区分に応じて、当該各号に定める者をもって充てる。
 - (1) 事務局長 福山市都市部長
 - (2) 事務局次長 笠岡市政策部長
 - (3) 事務局員 事務局長が指名する者
- 4 事務局の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第13条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金及びその他収入をもって充てる。

(監査)

第14条 協議会の出納を監査するため、協議会に監事2人を置く。

- 2 監事は、委員のうちから会長が指名する。
- 3 監事は、監査の結果を会長に報告しなければならない。

(財務に関する事項)

第15条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(費用弁償等)

第16条 協議会の会長、副会長、委員、地域部会の委員、及び第7条第5項の規定により会議への出席を求められた委員以外の者は、その職務を行うために要する費用の弁償等を受けることができる。

- 2 前項に規定する費用弁償等の額及び支給方法は、会長が別に定める。

(協議会が解散した場合の措置)

第17条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であったものがこれを決算する。

(委任)

第18条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、2016年(平成28年)4月11日から施行する。

(経過措置)

- 2 網形成計画が作成されるまでの間、第3条第2号及び第3号に規定する協議会の事業については、これらの号の規定にかかわらず、「網形成計画」とあるのは「福山市生活バス交通利用促進計画及び笠岡市地域公共交通総合連携計画」と読み替えて適用する。この場合において、福山市生活バス交通利用促進計画に関する事業については福山地域部会が所掌し、笠岡市地域公共交通総合連携計画に関する事業については笠岡地域部会が所掌する。

別表第1（第5条関係）

区 分	団体又は機関等
地方公共団体	福山市
	笠岡市
関係する公共交通事業者等	株式会社中国バス
	鞆鉄道株式会社
	株式会社井笠バスカンパニー
	北振バス株式会社
	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社
	井原鉄道株式会社
	走島汽船有限会社
	笠岡地区旅客船協会
	一般社団法人広島県タクシー協会東部支部
	一般社団法人岡山県タクシー協会井笠支部
道路管理者・港湾管理者	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所
	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所
	広島県東部建設事務所
	岡山県備中県民局
公安委員会	広島県警察福山東警察署
	岡山県警察笠岡警察署
地域公共交通の利用者	福山市自治会連合会
	笠岡市行政協力委員長協議会
学識経験者	公共交通に精通した大学教授等
その他地方公共団体が必要と認める者	国土交通省中国運輸局
	広島県地域政策局地域力創造課
	岡山県県民生活部県民生活交通課

別表第2（第10条関係）

名称	区分	団体又は機関等
福山地域部会	地方公共団体	福山市
	関係する公共交通事業者等	株式会社中国バス
		鞆鉄道株式会社
		株式会社井笠バスカンパニー
		北振バス株式会社
		西日本旅客鉄道株式会社岡山支社
		井原鉄道株式会社
		走島汽船有限会社
		一般社団法人広島県タクシー協会東部支部
	道路管理者・港湾管理者	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所
		広島県東部建設事務所
	公安委員会	広島県警察福山東警察署
	地域公共交通の利用者	福山市自治会連合会
		福山市女性連絡協議会
		社会福祉法人福山市社会福祉協議会
	学識経験者	公共交通に精通した大学教授等
	その他地方公共団体が必要と認める者	国土交通省中国運輸局広島運輸支局
広島県地域政策局地域力創造課		
福山商工会議所		
連合広島福山地域協議会		
笠岡地域部会	地方公共団体	笠岡市
	関係する公共交通事業者等	株式会社井笠バスカンパニー
		西日本旅客鉄道株式会社岡山支社
		笠岡地区旅客船協会
		一般社団法人岡山県タクシー協会井笠支部
	道路管理者・港湾管理者	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所
		岡山県備中県民局
	公安委員会	岡山県警察笠岡警察署
	地域公共交通の利用者	笠岡市行政協力委員長協議会
		笠岡市婦人協議会
		笠岡老人クラブ連合会
		笠岡市民
	学識経験者	公共交通に精通した大学教授等
その他地方公共団体が必要と認める者	国土交通省中国運輸局岡山運輸支局	
	岡山県県民生活部県民生活交通課	
	井笠バス労働組合	

V. 委員名簿

1. 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会

2016年（平成28年）6月14日時点

区分	団体名	役職	名前	備考
地方公共 団体	福山市	副市長	佐藤 彰三	副会長
	福山市	建設局長	岡本 浩男	
	笠岡市	副市長	岡本 裕也	
関係する 公共交通 事業者	株式会社中国バス	代表取締役専務	渡邊 寛人	
	株式会社井笠バスカンパニー	常務取締役	渡辺 徹	
	鞆鉄道株式会社	取締役旅客運送事業部長	神原 昌弘	
	北振バス株式会社	取締役営業部長	吉本 伸久	
	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社	企画課長	加藤 勇樹	
	井原鉄道株式会社	代表取締役専務	畦坪 和範	
	走島汽船有限会社	代表取締役	岡森 正人	
	笠岡地区旅客船協会	会長	天野 雄二郎	
	一般社団法人広島県タクシー協会東部支部	支部長	山田 進一	
	一般社団法人岡山県タクシー協会井笠支部	副支部長	原田 明夫	
道路・港湾 管理者	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	事務所長	堀江 豊	
	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所	事務所長	池田 裕二	
	広島県東部建設事務所	事務所長	友道 康仁	
	岡山県備中県民局井笠地域事務所	地域建設部長	堀井 修一	
公安 委員会	広島県警察福山東警察署	交通官	後藤 宏暢	
	岡山県警察笠岡警察署	副署長	松原 利行	
地域公共 交通 利用者	福山市自治会連合会	常任理事	和田 秀俊	監事
	笠岡市行政協力委員長協議会	副会長	平野 勲	監事
学識 経験者	福山大学	名誉教授	井上 矩之	会長
	福山市立大学	教授	渡邊 一成	副会長
地方公共 団体が 必要と認 める者	国土交通省中国運輸局	交通企画課長	北川 由佳	
	広島県地域政策局地域力創造課	課長	木村 洋	
	岡山県県民生活部県民生活交通課	課長	槇尾 俊之	

2. 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 福山地域部会

2016年（平成28年）4月11日時点

区分	団体名	役職	名前	備考
地方公共団体	福山市	建設局長	おかもと ひろお 岡本 浩男	副部会長
関係する公共交通事業者	株式会社中国バス	代表取締役専務	わたなべ ひろと 渡邊 寛人	
	株式会社井笠バスカンパニー	常務取締役	わたなべ とおる 渡辺 徹	
	鞆鉄道株式会社	取締役旅客運送事業部長	かんばら まさひろ 神原 昌弘	
	北振バス株式会社	取締役営業部長	よしもと のぶひさ 吉本 伸久	
	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社	企画課長	かとう ゆうき 加藤 勇樹	
	井原鉄道株式会社	代表取締役専務	うねつぼ かずのり 畦坪 和範	
	走島汽船株式会社	代表取締役	おかもり まさと 岡森 正人	
	一般社団法人広島県タクシー協会東部支部	支部長	やまだ しんいち 山田 進一	
道路・港湾管理者	国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	事務所長	ほりえ ゆたか 堀江 豊	
	広島県東部建設事務所	次長	なかもと としゆき 中本 俊幸	
公安委員会	広島県警察福山東警察署	交通官	ごとう ひろのぶ 後藤 宏暢	
地域公共交通利用者	福山市自治会連合会	常任理事	わだ ひでとし 和田 秀俊	
	福山市女性連絡協議会	副会長	ふじい ちえこ 藤井 智恵子	
	社会福祉法人福山市社会福祉協議会	事務局長	ふじい たかのり 藤井 孝紀	
学識経験者	福山市立大学	教授	わたなべ かずなり 渡邊 一成	部会長
地方公共団体が必要と認める者	国土交通省中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	かやほら ひろのり 茅原 裕則	
	広島県地域政策局地域力創造課	課長	きむら ひろし 木村 洋	
	福山商工会議所	副会頭	ふじい もとひろ 藤井 基博	
	連合広島福山地域協議会	私鉄中国地方労働組合 中国バス支部執行委員長	やまわき けいじ 山脇 敬治	

3. 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 笠岡地域部会

2016年（平成28年）6月14日時点

区分	団体名	役職	名前	備考
地方公共団体	笠岡市	副市長	おかもと ひろや 岡本 裕也	部会長
関係する公共交通事業者	株式会社井笠バスカンパニー	常務取締役	わたなべ とおる 渡辺 徹	
	西日本旅客鉄道株式会社岡山支社	企画課長	かとう ゆうき 加藤 勇樹	
	笠岡地区旅客船協会	会長	あまの ゆうじろう 天野 雄二郎	
	一般社団法人岡山県タクシー協会井笠支部	副支部長	はらだ あきお 原田 明夫	
道路・港湾管理者	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所	計画課長	たにぐち ゆういちろう 谷口 雄一郎	
	岡山県備中県民局井笠地域事務所	地域建設部長	ほりい しゅういち 堀井 修一	
公安委員会	岡山県警察笠岡警察署	副署長	まつばら としゆき 松原 利行	
地域公共交通利用者	笠岡市行政協力委員長協議会	副会長	ひらの いきお 平野 勲	
	笠岡市婦人協議会	副会長	あまの きよみ 天野 喜代美	
	笠岡市老人クラブ連合会	副会長	もり えみこ 森 恵美子	
	笠岡市民		うねぎき まり 畦崎 まり	
学識経験者	福山大学	名誉教授	いのうえ のりゆき 井上 矩之	副部会長
地方公共団体が必要と認める者	国土交通省中国運輸局岡山運輸支局	首席運輸企画専門官	みやなが ゆうさく 宮長 勇作	
	岡山県県民生活部県民生活交通課	課長	まさお としゆき 槇尾 俊之	
	井笠バス労働組合	書記長	ふじなが ひとし 藤永 斉	